

日本気象学会 2016 年度秋季大会 出展・協賛企業・団体等一覧

今大会の開催にあたり，以下の企業・団体からご出展・ご協賛・ご協力を頂きました（2016年8月30日現在；50音順）．厚く御礼申し上げます．（*は会場内に併設されるブースにて展示を行う予定の企業・団体です．）

株式会社朝倉書店

サイバネットシステム株式会社*

株式会社 三弘*

全日本空輸株式会社

一般財団法人 日本気象協会*

日本無線株式会社

株式会社ニューテック*

三菱電機株式会社*

明星電気株式会社*

日本気象学会 2016 年度秋季大会

会期：2016年10月26日（水）～28日（金）

会場：名古屋大学東山キャンパス 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

大会実行委員会担当機関：名古屋地方気象台，名古屋大学，三重大学，信州大学，日本気象協会中部支社，
日本気象予報士会東海支部

大会委員長：長谷川 洋平（名古屋地方気象台）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局

TEL：090-5102-6410（大会期間中のみ有効）

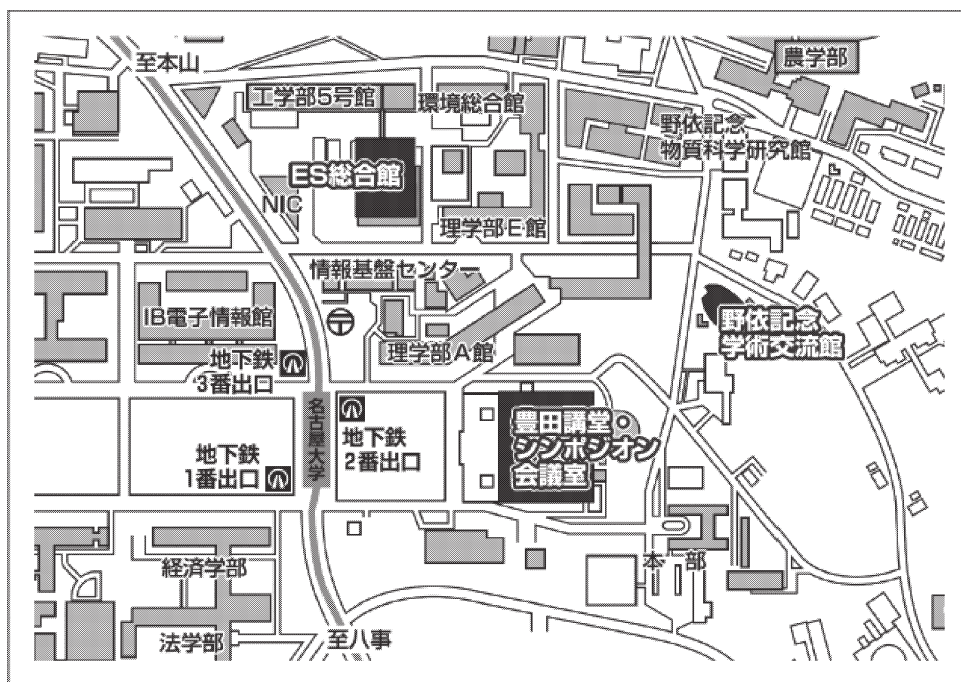
取り次ぎ等はいたしませんのでご了承ください。

交通案内：

- 1) 中部国際空港（セントレア）から名古屋大学まで
「中部国際空港駅」から「金山駅」まで名古屋鉄道（名鉄）で約30分（特急利用時）（運賃810円）．
「金山駅」から名古屋市営地下鉄（以下，地下鉄）名城線左回りに乗り換え，「名古屋大学駅」まで約20分（運賃270円）．
- 2) JR名古屋駅から名古屋大学まで
「名古屋駅」から「本山駅」まで地下鉄東山線で約15分．「本山駅」で地下鉄名城線右回りに乗り換え，「名古屋大学駅」まで2分（運賃270円）．
- 3) 県営名古屋空港から名古屋大学まで
空港から「名鉄西春駅」まで名鉄バスで約20分（運賃340円）．「名鉄西春駅」から「上小田井駅」まで名鉄犬山線で約3分．「上小田井駅」で地下鉄鶴舞線に乗り換え，「八事駅」まで約30分．
「八事駅」で地下鉄名城線左回りに乗り換え，「名古屋大学駅」まで約4分（名鉄西春駅から名古屋大学駅までの運賃470円）．

なお，大学周辺に駐車場はありませんので，公共交通機関をご利用ください。

会場案内図



大会行事予定

A会場 : 豊田講堂ホール
 B会場 : 豊田講堂シンポジウム会議室
 C会場 : 野依記念学術交流館2階カンファレンスホール
 D会場 : ES 総合館 ES ホール
 ポスター会場 : 野依記念学術交流館1階

シンポジウム・授賞式会場 : 豊田講堂ホール
 受付 : 豊田講堂1階ロビー
 大会事務局 : 豊田講堂3階 第3会議室
 懇親会 : 豊田講堂1階アトリウム

() 内は講演数と講演番号

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月26日 (水)	09:30～ 12:30	降水システム I (15, A101～A115)	スペシャル・セッション 「衛星観測データの新しい解析手法による雲・降水過程の理解深化と数値モデル検証」 (14, B101～B114)	スペシャル・セッション 「気象予測・観測技術の再生可能エネルギー分野への応用」 (13, C101～C113)	スペシャル・セッション 「海大陸における大気・海洋・陸面マルチスケール相互作用研究—国際集中観測 YMC に向けて—」 (13, D101～D113)
	13:30～ 17:00	降水システム II (18, A151～A168)	データ同化 (18, B151～B168)	大気境界層 (14, C151～C164)	大気放射 (8, D151～D158) 大気力学 (9, D159～D167)
	17:00～ 18:00	ポスター・セッション (97, P101～P197)			
10月27日 (木)	09:15～ 12:00	気候システム I (13, A201～A213)	気象予報 (5, B201～B205) 気象教育 (6, B206～B211)	スペシャル・セッション 「気候形成の統合的理解—気候科学における基礎研究の推進と地学・地理教育との連携—」 (13, C201～C213)	スペシャル・セッション 「あかつきが拓く惑星気象学」 (12, D201～D212)
	13:00～ 15:30	シンポジウム「航空機が気象学にもたらす科学イノベーション」 司会 : 坪木 和久 基調講演 : 小池 真, 村上 正隆, 山口 宗彦, 浦塚 清峰			
	15:45～ 16:15	堀内賞・正野賞・山本賞・奨励賞授与			
	16:15～ 18:15	堀内賞・正野賞・山本賞受賞記念講演			
	18:20～ 20:20	懇親会			
10月28日 (金)	09:15～ 11:30	気候システム II (12, A301～A312)	物質循環 I (11, B301～B311)	観測手法 (12, C301～C312)	中高緯度大気 (7, D301～D307) 中層大気 (5, D308～D312)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (97, P301～P397)			
	13:30～ 17:00	熱帯大気・台風 (16, A351～A366)	物質循環 II (18, B351～B368)	スペシャル・セッション 「気象情報の活用および気象講座・気象教育」 (19, C351～C369)	スペシャル・セッション 「気候変動が日本・東アジア域の降水現象の変化に及ぼす影響の理解に向けて」 (18, D351～D368)

発表件数 : 483 件 (一般口頭発表 187, ポスター 194, スペシャル・セッション 102)
 口頭発表の講演・質疑時間 : 9 分と 2 分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenkikaku2016a@mri-jma.go.jp) まで。

大会参加費・懇親会費

大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者 A	8,000 円	—
講演者 B	5,000 円	—
聴講者	3,000 円	4,000 円

- 講演者の種別：

講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者 B：講演者 A に該当しない講演者

- 講演件数が 2 件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000 円	6,000 円
学生	2,500 円	3,000 円

支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっており、既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて 2016 年 8 月 23 日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は 2016 年 8 月 16 日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

講演の方法

口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演 1 件あたりの持ち時間は 11 分（講演 9 分・質疑 2 分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演には PC プロジェクターを使用できます。
- 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
 - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
 - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行って下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
 - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦 160 cm × 横 110 cm 程度となっています。
- ポスターの掲示にはセロハンテープなどのテープ類、フックが使用できます。画鋲等のピンは使用できません。テープ類は会場に用意しますが、発表者が用意していたいても構いません。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守でお願いします。
 - ✓ 第 1 日の発表者は 10 月 26 日 09:00～20:00
 - ✓ 第 3 日の発表者は 10 月 28 日 09:00～12:30
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

保育施設の紹介について

大会実行委員会では、大会期間中の保育施設の紹介と、施設利用費用の一部補助を行います。紹介する保育施設と補助金額は下記の通りです。

保育施設：

「トットランド栄」

URL：<http://www.totmate.jp/>

TEL：052-253-5777

補助金額：

保育施設利用料の 3 分の 2 を補助しますが、1 日あたり補助金額の上限は 8,000 円です。また、交通費についても補助を行います。上限を 1,000 円とします。

施設を利用される場合は、利用者が直接お申込みのうえ、9 月 30 日（金）までに下記担当者までご連絡下さい。他の施設を利用される場合にも同様の方法で補助を行います。保

育施設の利用を検討されている方は、気軽に担当者にお問い合わせください。

連絡先：西尾 伊三男，川嶋 徹（名古屋地方気象台）

E-mail：msj-chubu-2016@netsoc.jp

TEL：052-751-5125

シンポジウム「航空機が気象学にもたらす科学イノベーション」

日時：大会第2日（10月27日〔木〕）13:00～15:30

会場：名古屋大学 豊田講堂ホール（名古屋市中種区不老町）

司会：坪木 和久（名古屋大学 宇宙地球環境研究所）

※シンポジウムの聴講は無料です。一般の方も参加できます。

趣旨

雲やエアロゾル粒子，温室効果気体の観測，台風やメソシステムの観測などさまざまな目的において航空機の重要性は誰もが認めるものである。気象学会は観測専用の航空機を保持することを長い間希望してきた。近年，観測専用の航空機を所有し，新しい気象学の発展を目指す気運が高まりつつある。そのような状況のなかで名古屋大学宇宙地球環境研究所は飛翔体観測推進センターを設置し，国内の航空機観測に貢献することを目指している。名古屋大学は県営名古屋空港が近くであり，航空機観測という点で地の利もある。航空機観測先進国の米国では，台風観測をはじめとする航空機の有効利用が行われてきており，最近では偏波フェーズドアレイレーダを航空機に搭載することが計画されている。台湾では台風の航空機観測が大学を中心とした研究段階から現業段階に入った。韓国や中国も専用の航空機で観測を開始しつつある。そのような国内・国際情勢の中で，気象学会として航空機観測の有用性とそれによる新しい研究の展開について，会員全体さらに学会外も含めて議論・検討する時期に来ている。

名古屋大学は大気圏科学研究所の時代に観測専用の航空機を所有することを目指した時期があった。当時やはり名古屋で行われた気象学会のシンポジウムで航空機観測が取り上げられている。そのときは航空機を所有するまでにはならず，これまで国内での航空機観測は個別の研究プロジェクトで行われてきている。それから20年を経て国内外の状況も大きく変わり，再び観測専用の航空機に対する期待と気運が高まりつつある現在，もう一度，専用の航空機を所有し気象学の新しい展開を検討することは，今まさに適時といえる。本シンポジウムでは気象学だけでなく，より広い地球科学における航空機利用の現状とその将来性について議論したい。

プログラム

- 1) 「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進：気象学会の研究計画」
小池 真（東京大学大学院 理学研究科）
- 2) 「雲・降水研究における航空機観測の役割」
村上 正隆（名古屋大学 宇宙地球環境研究所）
- 3) 「航空機観測の熱帯低気圧予測へのインパクト」
山口 宗彦（気象庁 気象研究所）
- 4) 「合成開口レーダによる地球観測において航空機観測に求められること」
浦塚 清峰（国立研究開発法人 情報通信研究機構）
- 5) 総合討論
坪木 和久（名古屋大学 宇宙地球環境研究所）

*各講演時間は，質疑応答を含めて30分です。

スペシャル・セッションの概要紹介

衛星観測データの新しい解析手法による雲・降水過程の理解深化と数値モデル検証

日時：大会第1日（10月26日）09:30～12:30

場所：B会場

趣旨：近年の衛星観測では複数のプラットフォームやセンサ

一によって雲降水システムの様々な物理量が同時に得られるようになり，衛星観測は従来の物理量の推定から，物理量を組み合わせて素過程を診断できる新しい時代に入ったと言える。特に今年は，雲の鉛直内部構造を観測するCALIPSO/CloudSat衛星が運用10周年を迎えるほか，降雨

の三次元構造をとらえる GPM 主衛星の打ち上げからは 2 年、高時間分解能での計測を可能としたひまわり 8 号の運用開始からは 1 年が経つ歴史的な節目の年でもある。本セッションでは、このように拡充しつつある衛星観測データを縦横に活用して雲・降水過程を調べる新しい解析研究と、それを用いた数値モデルのプロセス検証に関する研究発表を広く募集する。これにより、異なる衛星ミッションにまたがるコミュニティ間の情報交換を図り、雲・降水過程の理解を進めるための衛星観測とモデリングの連携を促進したい。

世話人：鈴木健太郎（東大気海洋研）、増永浩彦（名大宇宙地球研）、端野典平（九大応力研）

気象予測・観測技術の再生可能エネルギー分野への応用

日時：大会第 1 日（10 月 26 日）09:30～12:30

場所：C 会場

趣旨：近年、固定価格買取制度（FIT）の導入以降、太陽光発電や風力発電システムなどの再生可能エネルギーの導入量には目覚ましいものがあります。一方、これらの発電出力は天候等により左右されるため、時間的、空間的にも大きく変動します。このため、再生可能エネルギーを含めた電力の安定供給、電力の需給バランスの安定化には、太陽光や風力の予測、把握技術は不可欠な技術要素となりつつあります。また、気象の分野で技術開発された様々な予測・観測技術を用いることは、電力システムの運用コスト削減に貢献し、系統安定性へ大きく寄与できる可能性を秘めています。

このセッションでは、気象予測や気象観測技術が電力システム分野においてどのように利用、応用され有効に活用されていくのか、その議論の場にしたいと思います。研究機関から民間の気象会社、電力システム分野など様々な角度からのご発表、意見交換を期待致します。

世話人：大竹秀明（産業技術総合研究所太陽光発電研究センター）、嶋田進（産業技術総合研究所再生可能エネルギー研究センター）、宇田川佑介（構造計画研究所／東京大学生産技術研究所エネルギー工学連携研究センター）、中島孝（東海大学情報理工学部）、滝谷克幸（日本気象協会）、早崎宣之（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

海大陸における大気・海洋・陸面マルチスケール相互作用研究—国際集中観測 YMC に向けて—

日時：大会第 1 日（10 月 26 日）09:30～12:30

場所：D 会場

趣旨：インド洋から太平洋にかけての暖水プール域に広がる「海大陸」はウォーカー循環、ハドレー循環の上昇流域にあたり、この地域の降水とそれに伴う加熱は、全球の気候システムを理解する上で重要な要素の 1 つである。海大陸では、沿岸部の海陸風、季節内周期で発現する MJO、両半球からの季節風、数年おきに発生する IOD 等の様々な時間スケールの現象が絡み合いながら降水活動に影響を与えている。同地域の独自性・重要性は国際的にも広く認識されており、海大陸の気象・気候システムを明らかにする試み“Years of the Maritime Continent (YMC)”が、2017-

19 年に計画されている。本セッションでは、海大陸の大気・海洋・陸面における様々な現象とその相互作用研究の現状を整理すると共に、国際集中観測 YMC に向けた課題について議論する。また多角的な理解のため、比較対象となる他地域の研究も歓迎する。

世話人：安永数明（富山大学）、竹見哲也（京都大学）、米山邦夫（海洋研究開発機構）、鈴木賢士（山口大学）、増永浩彦（名古屋大学）

気候形成の統合的理解—気候科学における基礎研究の推進と地学・地理教育との連携—

日時：大会第 2 日（10 月 27 日）09:15～12:00

場所：C 会場

趣旨：近年の気候システム研究の発展はめざましく、大規模計算機や各種の先端的研究によって、温暖化予測を含む気候の変動機構に関して、様々な知見が得られている。本セッションでは、これらの知見を気候形成論の統合的理解に援用することで、地理的な気候諸現象に対して、気候力学・海洋力学の視点から、これまでに提唱された各種の仮説を再検討する。大学教養課程や高校の地学・地理の基礎教育を含め、広く気候科学の最新知識を社会還元するコミュニティの形成を目指す端緒を開きたく、気象学会だけではなく、地理学会、海洋学会などの隣接諸学会でも活躍する研究者の積極的な参加を期待したい。

世話人：植田宏昭（筑波大生命環境）、立花義裕（三重大生物資源）、松本淳（首都大学東京）、三寺史夫（北大低温研）、野沢徹（岡山大自然科学）

あかつきが拓く惑星気象学

日時：大会第 2 日（10 月 27 日）09:15～12:00

場所：D 会場

趣旨：日本の金星気象衛星「あかつき」が昨年の 12 月に金星周回軌道へ投入されました。いろいろな波長のカメラによる撮像を中心に、金星大気大循環の解明に向けた観測が行われつつあります。様々な高度での雲模様の変化や、それから推定される風速分布などから、大気スーパーローテーションの実態だけでなく、その維持メカニズムに深く関係していると考えられる、平均子午面循環や大気波動・大気擾乱に関する情報が得られるものと期待されます。同時に、金星以外の惑星に関しても、近年は活発な理論的・観測的研究が展開されつつあります。

本セッションでは、あかつきの初期成果を中心に、惑星大気全般に関する研究を広く募集し、最新の惑星大気科学の成果について議論したいと思います。惑星大気に従来から興味をお持ちの方は勿論、あかつきの成功を機に、惑星大気に関心を持たれた方の参加を歓迎します。

世話人：高木征弘（京都産業大学理学部）、今村剛（JAXA 宇宙科学研究所）、高橋芳幸（神戸大学大学院理学研究科）、中島健介（九州大学大学院理学研究院）、松田佳久（東京学芸大学自然科学系）

気象情報の活用および気象講座・気象教育

日時：大会第 3 日（10 月 28 日）13:30～17:00

場所：C 会場

趣旨：昨年の「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」、一昨年の

「平成26年8月豪雨」など毎年のように大きな気象災害が発生している。しかしながら残念なことに住民が防災気象情報を正しく理解していないこと、首長からの適切な避難情報が発表されないこともあり、住民の適切な避難行動が執られていないケースもしばしば見受けられる。このため、最近では防災、減災を目的とした気象講座等の開催ではあるが、防災目的で気象予報士を派遣する動きもでてくる。また、教育面では、学校教育においても自然を理解し防災面で重要性が高まっており、地学等の科目を見直すべきだとの論議もされるようになってきた。このようなことから、防災の研究結果の発表、防災啓発や防災教育などについての方向性の議論とともに、気象予報士の役割等の論議をしたいと考える。

世話人：岩田修、岡田登志恵、鈴木浩文、関谷不二夫、横野泰夫、與語基宏、水谷俊雄、荒川知子（日本気象予報士会）

気候変動が日本・東アジア域の降水現象の変化に及ぼす影響の理解に向けて

日時：大会第3日（10月28日）13:30～17:00

場所：D会場

趣旨：地球温暖化に伴い、気温はほぼ全球で上昇するが降水は地域差のある複雑な変化をする旨指摘されている。特に、日本・東アジア域は、ユーラシア大陸と太平洋との境に位置し、気象は、大陸と海洋、中緯度と熱帯の多方面からの影響を受けるため、気候変化に対する応答が複雑で敏感な可能性がある。近年の日本では、2014年2月に南岸低気圧が甲府に前代未聞の大雪を、8月には多雨域でない広島に豪雨が甚大な被害をもたらした。このような現象は気候変動と係っているのだろうか。本セッションでは、気候変動に伴う大循環の変化と日本・東アジア域での降水変化との関係についての理解を深めるために研究成果を持ち寄り議論する。気候モデル実験、最新の気象・衛星観測、水同位体比、全球雲解像モデル出力データ等を利用した研究、海洋、成層圏、北極圏、対流圏上部を含めた大循環の変化が東アジア域の降水に及ぼす影響のメカニズム研究などの投稿を歓迎する。

世話人：高森縁（東京大学大気海洋研究所）、尾瀬智昭（気象庁気象研究所）、中村尚（東京大学先端科学技術研究センター）

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第46回メソ気象研究会

日時：2016年10月25日（火）大会前日 13:30～17:30

場所：B会場（豊田講堂 シンポジウム会議室）

コンピーナー：金田幸恵（名古屋大学宇宙地球環境研究所）

テーマ：「擬似温暖化実験のメソ気象研究に対する可能性」

内容：近年、集中豪雨や台風といった極端気象現象に対する地球温暖化の影響がしばしば取り上げられています。たとえば、2013年11月にフィリピンを襲い甚大な被害をもたらした台風Haiyanは、はたして温暖化の影響を受けていたのでしょうか。また、もし仮にHaiyanのような台風が、温暖化が進んだ21世紀末に現れたとしたら、どのような台風になってどのような被害をもたらさうのでしょうか。

このような特定の気象現象の将来変化研究に取り組む手法の一つとして「擬似温暖化実験」が挙げられます。擬似温暖化実験は、再現実験と温暖化実験の一組の実験から成り立ちます。再現実験では再解析データ等を境界値に現象を再現します。次に温暖化実験では、この再解析データ等に全球気候予測実験等から取り出した差分を足し合わせます。昨年、海外でもHurricane Katrina (2005)、Sandy (2012)といった熱帯低気圧をはじめ、竜巻、洪水、winter storm等、さまざまな気象現象に対して、この手法が用いられています。

本手法は、温暖化に限らず、過去や将来のさまざまな気候変動に対するメソ気象現象の応答を調査する上で活用できるかもしれません。その可能性と限界について活発な議論をお願いします。

プログラム：

13:30-13:40 開会挨拶

13:40-14:10「レビュー：擬似温暖化実験」（発表20分+質疑10分）木村 富士男（筑波大学）

～第一部：台風への適用～

14:10-14:50「擬似温暖化実験による伊勢湾台風の将来変化」（発表30分+質疑10分）金田 幸恵（名古屋大学宇宙地球環境研究所）

14:50-15:30「台風強度に関する擬似温暖化実験」（発表30分+質疑10分）吉野 純（岐阜大学）

休憩

～第二部：応用 メソ気象学における可能性～

15:45-16:25「Conditional event attribution (Typhoon Haiyan)」（発表30分+質疑10分）高森 出（気象研究所）

16:25-17:05「過去の地域気候変化に対する下部境界条件の寄与」（発表30分+質疑10分）佐藤 友徳（北海道大学）

17:05-17:30 総合討論：擬似温暖化実験の可能性と限界

世話人：坪木和久（名大地球水循環）、加藤輝之（気象研究所）、小倉義光（東大大気海洋研）

連絡先：坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター）

E-mail：tsuboki@nagoya-u.jp

極域・寒冷域研究連絡会

日時：2016年10月26日（水）（大会第1日）セッション終了後2時間程度

場所：D会場（ES総合館ESホール）

テーマ：「南極域におけるエアロゾル研究の現状と今後」

趣旨：南極域のエアロゾル研究は、大気中の物質動態

けではなく、雪氷表面で起こる極域特有の物質循環過程も解明してきました。それに加えて、例えば、アイスコアの分析において氷期・間氷期のサイクルで現れる化学成分の濃度変動を理解するためには、少なくとも南極大陸・南大洋規模の物質輸送や大気と雪氷表面層の間の物質交換のメカニズムを知っていかなければなりません。エアロゾルの性質や分布は雲生成を通して南極の水循環に影響を与え、更に将来的には日射吸収量の変化をもたらす可能性が提示されてきました。今回は、いくつかの代表的な地域での観測結果に基づいて南極域の沿岸域から内陸の物質分布や季節変化に関する大局的特徴を確認し、それらをもたらすメカニズムの解明に期待される全球大気化学モデルの解析、及び南極氷床表面積雪層の物質の堆積状態の時間変化について議論します。以下の3名の方々の講演を計画しています。学会員からの講演の追加も期待しておりますので、ご希望の方は下記連絡担当者またはお近くの極寒関係者にお声掛けください。

プログラム：

1. 「趣旨説明」
2. 「南極大気中のエアロゾルなどの大気微量成分の物質循環」
原 圭一郎（福岡大学）
3. 「モデルから見える南極への長距離輸送」
須藤健悟（名古屋大学）
4. 「雪氷面への物質沈着、表層のプロファイルの形成機構」
保科 優（国立環境研究所）

連絡先：當房 豊（国立極地研究所）

E-mail：tobo.yutaka@nipr.ac.jp

統合的陸域圏研究連絡会

日時：2016年10月26日（水）（大会第1日）セッション終

了後2時間程度

場所：C会場（野依記念学術交流館カンファレンスホール）

テーマ：「土壌からの温室効果ガス排出とそのメカニズム」

内容：土壌は直接あるいは植生を介して大気とさまざまな物質を交換している。このうち、土壌から大気へ放出されるものの中には CO_2 や N_2O などの主要な温室効果ガス（GHGs）が含まれており、気候に大きな影響を与えている。そこで、今回の研究会では、土壌からの CO_2 放出とそれに対する土壌微生物の寄与、ならびに窒素肥料利用を考慮した NH_3 、 NO 、 N_2O 放出量推定についてご講演を頂き、土壌から大気へのGHG放出とそのメカニズムについて議論したいと考える。（タイトルや講演者は変更になる場合があります）

プログラム：

- 1) 陸域土壌から放出される二酸化炭素量のグローバルスケールの推定（仮）
橋本昌司（森林総研）
- 2) 陸域生態系における土壌呼吸と土壌微生物群集
吉竹晋平（岐阜大）
- 3) 窒素形態を考慮した全球窒素肥料マップの開発と VISIT モデルによる陸域 NH_3 ・ NO ・ N_2O ガス放出の推定
仁科一哉（環境研）
- 4) 総合討論

世話人：伊勢武史（京大）、市井和仁（JAMSTEC）、大石龍太（極地研/東大 AORI）、熊谷朝臣（名大）、近藤雅征（JAMSTEC）、佐藤 永（JAMSTEC）、立入 郁（JAMSTEC）、羽島知洋（JAMSTEC）

連絡先：立入 郁（JAMSTEC）

E-mail：tachiiri@jamstec.go.jp

2017 年度春季大会の予告

2017 年度春季大会は、2017 年 5 月 25 日（木）～28 日（日）に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2017年2月頃となる予定です。

大会第1日 10月26日(水) 9:30~12:30 一般口頭発表

A 会場

降水システム I

座長：石津 尚喜 (気象研)

- A101 楠 研一 (気象研) 2016年1月19日庄内平野で観測された下層渦の2重構造
- A102 小野村 史穂 (アルファ電子/気象研) 2015年12月4日庄内平野に突風被害をもたらした気象じょう乱
- A103 猪上 華子 (気象研) 庄内平野に突風をもたらした降水システム内の渦の高分解能観測
- A104 石津 尚喜 (気象研) 渦が庄内平野に上陸したときの総観場と降水形態の分類
- A105 足立 透 (気象研) 2015年8月6日茨城県桜川市に突風被害をもたらしたBow Echoに伴うダウンバースト
- A106 岩下 久人 (明星電気株式会社) 地上稠密気象観測による突風予測システムで用いる気温減率閾値の検討
- A107 道本 光一郎 (ウェザー・サービス) フェーズドアレイ気象レーダー (PAWR) を利用した極端気象現象 (落雷, 降雹等のシビアハザード) 予測に関する研究 (続報)
- A108 岩崎 博之 (群馬大教育) 暖候期の日本周辺における発雷効率の特徴
- A109 柏柳 太郎 (日本無線) 2015年9月4日に関東で発生した積乱雲のフェーズドアレイ気象レーダーによる観測 - 東京23区に局地豪雨と竜巻をもたらした事例 -

座長：横田 祥 (気象研)

- A110 湯浅 惣一郎 (高知大院理) アウターレインバンド内で発生した特異なミニスーパーセル
- A111 末木 健太 (東大大気海洋研) 台風環境場で発生するスーパーセルのエントレインメントを調べる理想化数値実験
- A112 横田 祥 (気象研) 超高解像度アンサンブル実験による竜巻と下層メソサイクロンの関係
- A113 加藤 輝之 (気象研) 大気成層の構造変化・上昇流に対する数値モデルの水平解像度の影響
- A114 荒木 健太郎 (気象研) 南岸低気圧に伴う関東甲信地方の降雪における沿岸前線の役割
- A115 岩崎 慎介 (九大応力研) 夏季・瀬戸内海の海洋潮汐による霧の応答

大会第1日 10月26日(水) 9:30~12:30 スペシャル・セッション

B 会場

衛星観測データの新しい解析手法による雲・降水過程の理解深化と数値モデル検証

座長：鈴木 健太郎（東大大気海洋研）

趣旨説明 (5分)

- B101 *濱田 篤 (東大大気海洋研) 衛星降水レーダ観測による降水プロセス研究への貢献
- B102 西 憲敬 (福岡大理) 雲データベースCTOPおよびGSMaPデータを用いた梅雨期東シナ海における雲と降水の解析
- B103 広瀬 民志 (京大院理) ひまわり8号観測データを用いた機械学習による強い雨の強度推定
- B104 山内 晃 (長大院水産環境) CloudSat-CALIPSO併用データを用いて解明したユーラシア大陸広域にわたる氷相割合の違いについて
- B105 Roh Woosub (東大大気海洋研) Evaluations of thermodynamic phases of clouds in NICAM using Joint simulator and CALIPSO
- B106 端野 典平 (九大応力研) 晶癖予測モデルにより再現される北極混合相層雲の評価

座長：端野 典平（九大応力研）

- B107 *清木 達也 (JAMSTEC) 巻雲の解像と気候影響の理解に向けて：高解像度大気大循環モデルの取り組み
- B108 江口 菜穂 (九大応力研) GOSAT TANSO-FTSスペクトルから導出された巻雲の特徴について
- B109 岩渕 弘信 (東北大院理) ひまわり8号の高頻度観測データを用いた氷雲のライフサイクルの解析
- B110 *永尾 隆 (JAXA/EORC) ひまわり8号雲特性プロダクトの開発および水雲微物理特性の時間発展モニタリングの可能性検討
- B111 計盛 正博 (気象庁数値予報) マイクロ波輝度温度データを用いた気象庁全球数値予報モデルの評価—大陸西岸沖の層積雲の日変化について—
- B112 神代 剛 (気象研) 衛星観測シミュレータCOSPによるCMIP5モデルAMIP実験の亜熱帯海洋下層雲量と推定逆転強度の関係の検証
- B113 *道端 拓朗 (九大院総理工) 気候モデルにおけるエアロゾル-雲-降水相互作用プロセスの不確実性の評価
- B114 岡本 創 (九大応力研) CloudSat-CALIPSOからEarthCAREへ：雲物理特性プロダクト改訂

*は招待講演 (各15分), それ以外は一般講演 (各11分)

大会第1日 10月26日(水) 9:30~12:30 スペシャル・セッション

C 会場

気象予測・観測技術の再生可能エネルギー分野への応用

座長：宇野 史睦（産総研）

- C101 田中 幸也（慶大理工） DTWに基づくクラスタリングを用いた日射量多地点予測システム
- C102 竹中 栄晶（JAXA） 衛星観測に基づく日射量及び太陽光発電出力の現況把握技術と短時間予測技術の開発
- C103 宇野 史睦（産総研） マルチモデルアンサンブル予報を用いた日射量予測と予測大外しへの利用可能性

座長：嶋田 進（産総研）

- C104 加藤 央之（日大・文理） 風力発電の急変動現象に関する風の予測（2）平均風速とランプの確立予測
- C105 永松 慎平（気象協会） 新島における再生可能エネルギー発電出力予測の検討
- C106 嶋田 照久（弘前大院理工） 北日本沿岸海域の風力資源に対する地形性強風の寄与
- C107 大澤 輝夫（神戸大院海事） NEDO洋上風況マップにおけるWRF計算精度の検証
- C108 嶋田 進（産総研） デュアル鉛直ライダー観測による沿岸風の増速率に関する研究

座長：宇田川 佑介（東大生産研）

- C109 中島 孝（東海大） エネルギー・マネジメントにおける気象学と需要科学の協働
- C110 南波 和樹（首都大システムデザイン） 日射量予測の変更に合わせて太陽光蓄電池の充放電制御法
- C111 益田 泰輔（名城大） 日射予測の電力系統需給制御への適用
- C112 宇田川 佑介（東大生産研） 日射量予測の改善が電力系統における需給運用に与える影響
- C113 野本 哲（中部電力） 電力需給における日射強度予測の必要性和予測精度

総合討論（5~10分）

大会第1日 10月26日(水) 9:30~12:30 スペシャル・セッション

D 会場

海大陸における大気・海洋・陸面マルチスケール相互作用研究—国際集中観測YMCに向けて—

座長：竹見 哲也（京大防災研）

趣旨説明

- D101 米山 邦夫 (JAMSTEC) Years of the Maritime Continent - 海大陸研究強化年
- D102 猪上 淳 (極地研) 極域予測年(YOPP)の準備状況
- D103 茂木 耕作 (JAMSTEC) Pre-YMC観測期間中のMJO通過によるスマトラ西岸沖バリエーションの発達
- D104 松岸 修平 (東大院理) Pre-YMC、MJO通過時におけるNICAMと観測の地表面潜熱フラックスの検証
- D105 安永 数明 (富山大理) Warm Pool域における水蒸気変動特性に関する研究
- D106 那須野 智江 (JAMSTEC) 2015年11-12月の海大陸集中観測期間のMJO発達過程
- D107 耿 驃 (JAMSTEC/RCGC) スマトラ島沖で「みらい」偏波ドップラーレーダーにより観測された西進擾乱の通過に伴う日周期降水活動への影響
- D108 鈴木 賢士 (山口大院) インドネシア・スマトラ島でのビデオゾンデとみらい偏波降雨レーダとの同期観測
- D109 勝俣 昌己 (JAMSTEC) Pre-YMC集中観測期間における船舶搭載ライダーを用いた洋上水蒸気の高解像度観測
- D110 横井 覚 (JAMSTEC) Pre-YMC観測データを用いた降水日変化メカニズムの検証
- D111 山中 大学 (JAMSTEC) 海大陸西岸における「重力波族」の出現状態
- D112 鈴木 順子 (JAMSTEC) Pre-YMC 期間中にコトタバンで観測された波動にともなう水蒸気・オゾン変動
- D113 西本 絵梨子 (京大院理) 成層圏QBOが南半球夏季MJOにおよぼす影響について

大会第1日 10月26日(水) 13:30~17:00 一般口頭発表

A 会場

降水システムII

座長：津口 裕茂（気象研）

- A151 山本 宗尚 (京大院理) チベット高原におけるGSMP降雨判定手法の改良
- A152 伊藤 直 (京大生存研) 稠密GNSS受信ネットワークによる可降水量の時間・空間変動のリアルタイム観測
- A153 清水 慎吾 (防災科研) 地上設置型マイクロ波放射計ネットワークを用いた可降水量の水平分布の検証
- A154 中井 専人 (防災科研・雪氷) レーダー降水量推定への降雪種観測の即時利用の試み
- A155 二宮 洸三 (無所属) 1982年7月23-25日の九州(長崎)豪雨の降水系:再検討
- A156 加藤 輝之 (気象研) 2016年6月20-21日の長崎・熊本での大雨の発生要因について
- A157 津口 裕茂 (気象研) 「平成27年9月関東・東北豪雨」の発生要因について (その2) - 上空の環境場と豪雨発生との関係 -
- A158 佐野 哲也 (NICT) 夏季静穏時に甲府盆地で発達した対流性降水システムの出現に先立つ気象場の事例解析
- A159 竹見 哲也 (京大防災研) 擬似温暖化実験による平成26年8月豪雨への気候変動影響の解析
- A160 廣川 康隆 (気象庁予報) 降水システム形成に寄与する渦位場の特徴 その2

座長：馬場 雄也（気象研）

- A161 當房 豊 (極地研) CRAFTを用いた氷晶核の数濃度の計測:コロラド高原での事例
- A162 田尻 拓也 (気象研) 鉱物ダスト粒子氷晶核能の温度依存性 (その2)
- A163 大瀧 莞司 (名大院環境) 東海地方における対流性降水域にみられた霰領域と上昇流統計値の関係
- A164 山下 晃 (大阪教育大) 空気模様を作る雪の結晶成長
- A165 齋藤 泉 (名工大院工) 積雲内における雲粒子の成長
- A166 三隅 良平 (防災科研) 東京スカイツリーで観測された下層雲の雲粒粒径の特徴
- A167 馬場 雄也 (JAMSTEC) TOGA-COARE実験から得られる統計的雲構造
- A168 村上 英世 (いい研) 新人工降雨システムの地球温暖化への効果

大会第1日 10月26日(水) 13:30~17:00 一般口頭発表

B 会場

データ同化

座長：本田 匠（理化学研究所計算科学研究機構）

- B151 山下 浩史 (気象庁数値予報) 気象衛星ひまわり8号から算出される大気追跡風の現業数値予報システムにおける利用開始
- B152 大塚 道子 (気象研) ひまわり8号高頻度大気追跡風のデータ同化実験—その2—
- B153 澤田 洋平 (理研計算科学) ひまわり8号を活かした局地的大雨の予測精度向上の試み
- B154 本田 匠 (理研計算科学) ひまわり8号輝度温度観測のデータ同化研究: 平成27年9月関東・東北豪雨事例
- B155 岡本 幸三 (気象研) ひまわり8号の曇天域赤外輝度温度同化 (第2報) 観測誤差等の同化パラメータの設定
- B156 上清 直隆 (気象研) ハイパー赤外サウンダの雲域全球同化と予報誤差感度に基づく観測データの評価
- B157 岡崎 淳史 (理研計算科学) 次世代静止衛星搭載降水レーダデータの同化実験にむけて
- B158 川畑 拓矢 (気象研) 二重偏波レーダデータを用いたデータ同化実験

座長：小槻 峻司（理化学研究所計算科学研究機構）

- B159 Lien Guo-Yuan (理研計算科学) LETKF assimilation of dense radar data for short-range fine-scale prediction of convective systems
- B160 大塚 成徳 (理研計算科学) フェーズドアレイ気象レーダを用いた三次元降水補外予測へのデータ同化の適用
- B161 前島 康光 (理研計算科学) 高頻度地上観測データ同化の局地的豪雨予報へのインパクト
- B162 国井 勝 (気象研) 領域大気海洋結合モデルを用いたアンサンブルカルマンフィルタの構築 (第3報)
- B163 石橋 俊之 (気象研) 観測誤差共分散構造の診断とその利用 (2)
- B164 寺崎 康児 (理研計算科学) 観測誤差相関を考慮したデータ同化手法の開発
- B165 斉藤 和雄 (気象研) アンサンブルデータ同化のための摂動手法について (序報)
- B166 小槻 峻司 (理研計算科学) アンサンブルカルマンフィルタの適応型共分散緩和手法
- B167 近藤 圭一 (理研計算科学) 10240メンバーアンサンブルデータ同化による局所化の解析誤差への影響
- B168 レ デュック (JAMSTEC) Development of a local Deterministic Ensemble Kalman Filter and comparison with LETKF

大会第1日 10月26日(水) 13:30~17:00 一般口頭発表

C 会場

大気境界層

座長：高根 雄也（産総研）

- C151 高根 雄也 (産総研) 領域気候・建物エネルギー連成数値モデルによる都市気候と電力需要の再現
- C152 中山 浩成 (原子力機構) リサイクリング技術を用いたLES温度成層乱流生成手法に関する研究
- C153 伊藤 純至 (気象研) JMANHMによる肱川あらしの数値的再現
- C154 服部 康男 (電中研) 蔵王風下での山岳波に起因するメソ擾乱の中立大気接地層乱流への干渉に関するLESによる洞察
- C155 新藤 永樹 (気象研) 2013年8月11日東京の最低気温30.4℃に対する都市モデルの再現性
- C156 山口 晃毅 (東北大流体研) 羽田空港における格納庫後流に発生する乱気流の非定常流体解析
- C157 高咲 良規 (立正大地球環境) 長野市におけるドップラーライダーを用いた山風の観測
- C158 鈴木 真一 (防災科研) ドップラーライダー観測から解析された地表近くの風とラジオゾンデ観測との比較
- C159 松尾 諒 (京大人環) 街と森における気温と水蒸気量の関係性について —2013年-2014年と2015年-2016年における観測結果より—
- C160 堀口 光章 (京大防災研) 大気境界層の発達に伴う大規模乱流構造の出現状況の変化（都市近郊での観測より）
- C161 永尾 一平 (名大院環境) 名古屋港で観測された夏季海陸風のホドグラフの鉛直分布（その2）
- C162 名越 利幸 (岩手大教育) 岩手雫石盆地で発生する霧のドローンによる観測
- C163 北城 佑記 (同志社大院理工) 大阪における海風の長期変動とその要因
- C164 大塚 清敏 (大林組技研) 秋田県北部沿岸での海上風観測に見られる冬季における海上風の乱れについて

大会第1日 10月26日(水) 13:30~17:00 一般口頭発表

D 会場

大気放射

座長：片桐 秀一郎（九州大学）

- D151 中山 智喜 (名大ISEE) 自動車排ガス起源の二次有機エアロゾルの光吸収特性の実験的研究
- D152 中川 真秀 (名大ISEE) 単一粒子の光散乱全角度分布計測装置の開発と性能評価-
エアロゾル粒子による放射影響推定の不確実性の低減のために-
- D153 関口 美保 (海洋大) 広帯域放射伝達モデルMstrnXの気体吸収テーブルの更新
- D154 藤川 雅大 (九大応力研) 多視野角・多重散乱偏光ライダーによる粒子タイプ識別及び偏光解消度
を用いた雲の相識別手法の開発
- D155 太田 晃平 (九大応力研) 衛星・地上型アクティブセンサによるニーオールスンの雲物理量の統計
解析
- D156 佐藤 可織 (九大応力研) 衛星搭載ライダーを用いた新しい水雲プロダクト
- D157 片桐 秀一郎 (九大応力研) CALIOPデータを用いた雲マスクプロダクトの改訂
- D158 石元 裕史 (気象研) μ -CTデータから得られた積雪粒子の形状と粒子散乱特性の計算

大気力学

座長：杉本 憲彦（慶応義塾大学）

- D159 杉本 憲彦 (慶大日吉物理) 自発的重力波放射とその反作用
- D160 南原 優一 (東大院理) PANSYフルシステム観測に基づく昭和基地上空の対流圏・下部成層圏の重
力波解析
- D161 原田 やよい (気象研) JRA-55を用いた北半球冬季の惑星規模波動の伝播特性解析 (第5報) ~
2013/14年北半球冬季に見られた東西波数2の卓越に着目して~
- D162 雨宮 新 (東大院理) PV- Θ 位相平面を用いた圏界面付近の不可逆的物質混合の表現
- D163 相木 秀則 (名大宇地研) 時間的ローパスフィルタに基づく擾乱位置エネルギーの収支式
- D164 野田 彰 (気象研) 一般化された変換Euler平均(GTEM)の データ解析応用上の問題点とその解決策
- D165 田中 博 (筑波大計算科学) 大気鉛直構造関数の数値解法に伴う問題について
- D166 北野 慈和 (北大院工) 開水路流れとの類似点に着眼したジェット気流のエネルギー解析
- D167 伊賀 啓太 (東大大気海洋研) 円筒容器内で回転する円盤上の軸対称流の側壁付近における加速

大会第2日 10月27日(木) 9:15~12:00 一般口頭発表

A 会場

気候システム I

座長：小玉 知央（海洋研究開発機構）

- A201 中村 哲（北大院地球環境）海氷全面消滅（Blue Arctic Ocean実験）に対する冬期大気循環応答
- A202 小玉 知央（JAMSTEC）14kmメッシュNICAM気候実験データを用いた温帯低気圧の将来変化解析
- A203 杉 正人（気象研）将来温暖化時の確率台風強度マップの作成（2）
- A204 吉森 正和（北大院地球環境）中高緯度の温暖化が熱帯の降雨分布に与える影響
- A205 長谷川 聡（土研ICHARM）全球d4PDFにおける比較SPIを用いた将来の降水量の評価
- A206 Cruz Faye Abigail（気象研）Assessment of future changes in climate over Southeast Asia using NHRCM

座長：川瀬 宏明（気象研）

- A207 川瀬 宏明（気象研）地球温暖化が近年の日本の天候に及ぼす影響の定量的評価
- A208 今田 由紀子（気象研）高解像度MRI-AGCMアンサンブル実験を用いた日本域の10年規模の気温変動に関する要因分析
- A209 高橋 千陽（東大大気海洋研）2015年8月上旬に持続した日本の猛暑に対する自然変動と人為起源温暖化の寄与
- A210 筒井 純一（電中研）地球温暖化緩和策の長期目標における温室効果ガスの人為的な排出と吸収の均衡について
- A211 谷田貝 亜紀代（弘大気象）ヒマラヤ山岳域のlandslide災害への局地的降水影響の評価（序報）
- A212 藤部 文昭（首都大都市環境）東京23区における熱中症死亡率の分布とその変動：2013年についての解析
- A213 釜堀 弘隆（気象研）SEAWINDS海上風データによる熱帯低気圧の平均循環場

大会第2日 10月27日(木) 9:15~12:00 一般口頭発表

B 会場

気象予報

座長：高谷 祐平（気象研）

- B201 山田 和孝（気象庁数値予報） 2016年3月に実施した気象庁全球モデル(GSM)物理過程等の改良について
- B202 榎本 剛（京大防災研） 2013年台風第3号Yagiの予報実験
- B203 山上 晃央（筑波大院生命環境） 2012年8月に発生した北極低気圧の予測可能性について
ー最低中心気圧の予測ー
- B204 高谷 祐平（気象研） マルチモデルアンサンブルによる季節予報
- B205 栗津 妙華（理研 計算科学） 画像認識を用いた降水予測の検証

気象教育

座長：山本 哲（気象研）

- B206 松浦 麻子（日本科学未来館） 気象及び地球温暖化をテーマとした実験教室の開発と実施・普及～
Miraikan Lab サテライト気象コース「天気教えてくれる地球のこと」～
- B207 関 隆則（気象予報士会） 光音響効果を用いた温室効果実験装置
- B208 山本 哲（気象研） 御雇英人ジョイナーによる東京での気象観測
- B209 實本 正樹（気象予報士会） 2013年3月10日の温帯低気圧に伴う寒冷前線の解析
- B210 川井 睦夫（気象予報士会） 既存データを用いた海陸風の調査について
- B211 伊藤 忠（気象予報士会） 局地解析から見た濃尾平野の積雪 2014年12月18日の事例と2016年1月
25日の事例比較

大会第2日 10月27日(木) 9:15~12:00 スペシャル・セッション

C 会場

気候形成の統合的理解—気候科学における基礎研究の推進と地学・地理教育との連携—

座長：植田 宏昭（筑波大生命環境）

- C201 松本 淳（首都大院都市環境、JAMSTEC/DCOP） モンスーン気候
- C202 三瓶 岳昭（会津大） 梅雨降水帯の形成と大規模循環場の力学
- C203 立花 義裕（三重大院生物資源） オホーツク海高気圧再考と高校地学地理
- C204 宮坂 貴文（東大先端研） 夏季北太平洋亜熱帯高気圧の形成力学
- C205 加藤 内藏進（岡大・教育・理科） ドイツと日本の冬から春への季節進行と季節感（春を迎える行事「ファスナハト」と「節分」に注目して（その2））
- C206 早崎 将光（環境研） 低気圧活動の気候学
- C207 植田 宏昭（筑波大・生命環境） チベット高気圧の形成と変動

座長：野沢 徹（岡山大自然科学）

- C208 増田 耕一（JAMSTEC） 「ケッペンの気候区分」を引退させてそれに代わるものを考えよう
- C209 中山 秀晃（気象予報士会） 高校地理教育における気候分野の扱いと課題
- C210 西川 はつみ（北大低温研） 大気循環に影響する北太平洋移行領域周辺の流動構造
- C211 三寺 史夫（北大低温研） 海洋循環の西岸強化とロスビー波
- C212 川崎 健太（三重大院生物資源） オホーツク海が存在が及ぼす梅雨強化メカニズム
- C213 高谷 康太郎（京都産大） シベリア高気圧／冬季東アジアモンスーンの変動

大会第2日 10月27日(木) 9:15~12:00 スペシャル・セッション

D 会場

あかつきが拓く惑星気象学

座長 : 高木 征弘 (京都産業大理)

はじめに

- D201 佐藤 毅彦 (宇宙研) 金星周回軌道のあかつき科学機器と観測計画
- D202 佐藤 毅彦 (宇宙研) あかつき IR2 カメラによる金星大気科学
- D203 田口 真 (立教大) 金星雲頂高度に発見された巨大重力波
- D204 安藤 紘基 (京産大) 「あかつき」電波掩蔽観測の初期成果報告
- D205 高橋 幸弘 (大学院理学研究院) あかつきによる雷検出の現状 Latest status of lightning detection by Akatsuki
- D206 小郷原 一智 (滋賀県大) 金星探査機「あかつき」Level 3プロダクトに見られる雲パターンの時間変化
- D207 堀之内 武 (北大院地球環境) 金星探査機「あかつき」の紫外データを用いた雲追跡
- D208 山本 勝 (九大応力研) 放射コードを組み込んだ金星GCMでシミュレートされた気温および大循環構造について
- D209 杉本 憲彦 (慶大日吉物理) AFESおよびLMD/GCMで再現された金星大気中の波の比較
- D210 檜村 博基 (JAMSTEC) 簡易金星版AFES高解像度計算におけるエネルギースペクトルの鉛直分布
- D211 三村 和男 (東海大学教養学部) 回転水槽実験におけるスーパー・ローテーション
- D212 山中 大学 (JAMSTEC) 地球の海はなぜ干上がらないのか: 「雨滴惑星」の考察

総合討論

大会第3日 10月28日(金) 9:15~11:30 一般口頭発表

A 会場

気候システムII

座長：川合 秀明（気象研）

- A301 Chen Ying-Wen (JAMSTEC) NICAMにおける上層雲の温暖化応答—シングル・ダブルモーメントバルクスキーム間の相違—
- A302 河本 和明 (長大環境) CloudSat搭載レーダから得られた雲層内の降水発生状況の解析
- A303 川合 秀明 (気象研) 衛星から見た北極海の下層雲の特徴
- A304 行本 誠史 (気象研) 気象研究所地球システムモデルMRI-ESM2の気候再現性
- A305 竹村 俊彦 (九大応力研) 大気海洋結合モデルを用いたエアロゾルによる放射収支変化と気温変化との関係性の検証

座長：高橋 千陽（東京大学大気海洋研究所）

- A306 桑名 佑典 (岡山大教育理科) 東アジアとの比較気候学的視点でみたヨーロッパの春への進行と低気圧活動 (2000年の事例解析)
- A307 松本 健吾 (岡山大・院) 梅雨最盛期と盛夏期の東日本における大雨日の降水特性と総観場の気候学的解析
- A308 槌田 知恭 (岡山大教育) 日本の盛夏期の降水特性と大気場に関する総観気候学的解析(2)
- A309 山口 拓朗 (岡山大教育) 1970年代以降の冬型気圧配置の特徴に関する解析 (初冬と真冬との違いを意識して)
- A310 高橋 千陽 (東大大気海洋研) 過去20年間の太平洋貿易風加速に対する硫酸性エアロゾルの役割
- A311 前田 修平 (気象研) ITCZの強い積雲対流活動がもたらした2014年暖候期の北太平洋の循環偏差
- A312 黒田 友二 (気象研) 北半球亜熱帯ジェットの月々変動とその影響

大会第3日 10月28日(金) 9:15~11:30 一般口頭発表

B 会場

物質循環 I

座長：後藤 大輔（極地研）

- B301 稲飯 洋一（北大院地球環境） 熱帯対流圏界層上端大気起源の経年変動 その原因と成層圏大気質への影響
- B302 山内 恭（極地研） 南極オゾンホール解消の兆し？
- B303 関谷 高志（JAMSTEC） 対流圏オゾンの全球モデリングにおける水平格子解像度の影響
- B304 池上 雅明（気象庁環境気象） 気象庁 領域大気汚染気象予測モデルへの地上大気汚染観測データ同化の導入
- B305 柴田 泰邦（首都大システムデザイン） 下層大気中のCO₂濃度と気温鉛直分布のライダー同時観測
- B306 Patra Prabir（JAMSTEC） On the use of aircraft CO₂ observations for carbon cycle studies
- B307 眞木 貴史（気象研） 複数の衛星観測データを用いたCO₂データ同化実験
- B308 佐々井 崇博（東北大院理） 衛星データ利用型モデルによるアジア10kmメッシュの陸域炭素収支解析
- B309 保科 優（環境研） 酸素や炭素同位体の測定に基づく大気CO₂濃度変動成分の起源推定法の開発
- B310 後藤 大輔（極地研） スパールバル諸島ニーオルスンにおける大気中CO₂濃度および炭素同位体比の時間変動
- B311 石戸谷 重之（産総研） 南鳥島における大気中酸素濃度の連続観測

大会第3日 10月28日(金) 9:15~11:30 一般口頭発表

C 会場

観測手法

座長：酒井 哲（気象研）

- C301 森 昂志 (京大生存研) 小型無人航空機・MUレーダー同時観測実験
- C302 田畑 啓 (京大生存圏) EAR-RASSによる赤道域UTLSの気温変動の連続観測に関する研究
- C303 内野 修 (環境研) GOSAT-2プロダクト検証用ライダーの開発と試験観測
- C304 酒井 哲 (気象研) 局地的大雨予測のための可搬性に優れた次世代型水蒸気ライダーの開発 (2)
- C305 泉 敏治 (気象研) ミーライダーデータから算出した混合層高度
- C306 Baron Philippe (NICT) Measurement Performance Assessment of Future Space-Borne Doppler Wind Lidar for Numerical Weather Prediction
- C307 下妻 達也 (長大院工学) XRAINを用いたGPM主衛星二周波降水レーダの降水強度の評価
- C308 佐藤 晋介 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーのデータ品質管理
～地表面クラッタの統計的性質～
- C309 吉田 翔 (気象工学) フェーズドアレイ気象レーダの逐次的Z R式推定手法の検討
- C310 民田 晴也 (名大宇地研) 降雪粒子の立体形状と等価体積直径
- C311 山本 哲 (気象研) 極細熱電対による気温観測における日射/放射影響の評価
- C312 上條 賢一 (東洋大) 気象変動モニタリングにおけるLFD異常検出のための一方法

大会第3日 10月28日(金) 9:15~11:30 一般口頭発表

D 会場

中高緯度大気

座長：山田 恭平 (国立極地研究所)

- D301 山田 恭平 (極地研) NHMによる南極定期予報計算の導入
- D302 菅野 湧貴 (東北大院・理) 中高緯度直接循環の3次元構造とポーラス速度
- D303 庭野 匡思 (気象研) 極域領域気候モデルNHM-SMAPの初期評価結果
- D304 青木 輝夫 (岡山大院自然) グリーンランド氷床上SIGMA-Aサイトにおける放射収支観測
— 近赤外アルベドと気温の関係 —
- D305 本田 明治 (新潟大理) 2016年1月下旬の日本各地に記録的寒波をもたらした大気循環場の特徴
- D306 趙 寧 (九大総理工) Response of SST in the Sea of Japan on the Winter Cyclones
- D307 清水 亮介 (同志社大院理工) Lanczosフィルタを用いたPolar Lowの客観的検出

中層大気

座長：直江 寛明 (気象研)

- D308 木下 武也 (JAMSTEC) 波が作る成層圏の物質輸送の3次元構造について
- D309 平野 創一朗 (東大院理) 北半球昇温時の物質循環の東西非一様性
- D310 小新 大 (東大院理) アンサンブルカルマンフィルターを用いた下部熱圏までのICSOM期間中のデータ同化解析
- D311 岩尾 航希 (熊本高専) 冬季中層大気における西風分布とプラネタリー波
- D312 直江 寛明 (気象研) QBOが成層圏中高緯度循環に与える影響 (QBOi実験)

大会第3日 10月28日(金) 13:30~17:00 一般口頭発表

A 会場

熱帯大気・台風

座長：山田 広幸（琉球大学）

- A351 坪木 和久 (名大宇地研) 台風の力学的・熱力学的・雲物理学的構造の量的解析のための航空機などの飛翔体を用いた観測計画
- A352 森 一正 (高層台) 台風Yancy(T9313)の初期発達過程の解析(続)ー啓風丸 I レーダー観測と数値実験結果を用いてー
- A353 山田 広幸 (琉球大理) 2010年第7号は「猛烈な」台風だった
- A354 嶋田 宇大 (気象研) 2015 年台風第15 号の壁雲交換後の急発達に関する観測的研究
- A355 山口 宗彦 (気象研) 1ヶ月予測は2016年の不活発な台風活動を予測できていたか？
- A356 伊藤 耕介 (琉大理) RSMC Tokyoによる台風強度の発表予報の誤差と環境場との関係

座長：和田 章義（気象研）

- A357 伊藤 耕介 (琉大理) 発達期から成熟期にかけての軸対称的な台風の構造上の特徴
- A358 辻野 智紀 (宇地研) 理想化した熱帯低気圧に伴う長寿命多重壁雲の維持メカニズム
- A359 小嶋 ゆう実 (岡大・教育・理科) 秋が深まった時期のTy1326に伴う日本列島での広域降水の特徴～季節進行の中での違いの理解に向けて～
- A360 和田 章義 (気象研) 海洋環境場が台風数値シミュレーションに与える影響
- A361 筆保 弘徳 (横浜国大) 台風発生環境場の統計解析 ～発生時の環境場はどのように影響するのか？～
- A362 中野 満寿男 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルによる季節内変動と北西太平洋域の台風発生数の将来変化
- A363 金田 幸恵 (名大ISEE) 21世紀末を想定した擬似温暖化実験による伊勢湾台風の将来最大強度推定(続報)温暖化による強化プロセス
- A364 柳瀬 亘 (東大大気海洋研) 北大西洋の熱帯・亜熱帯・温帯における低気圧の理想化実験
- A365 伍 培明 (JAMSTEC/DCOP) MJOと日変化対流によるスマトラ島西岸の集中豪雨
- A366 清木 亜矢子 (JAMSTEC) エルニーニョ非発生年における春以降の西風バースト欠如と背景場との関係

大会第3日 10月28日(金) 13:30~17:00 一般口頭発表

B 会場

物質循環Ⅱ

座長：五十嵐 康人（気象研）

- B351 車 裕輝（名大ISEE研） イソブレンによる新粒子生成抑制：京都市内と東京多摩丘陵での観測の比較
- B352 鶴野 伊津志（九大応力研） 粗大硝酸塩の越境輸送の重要性と生成要因
- B353 渡邊 明（福島大・理工） 大気中放射性物質の減衰特性
- B354 鶴田 治雄（RESTEC） 大気環境常時測定局で使用済みテーパー紙の分析による福島第一原子力発電所事故直後における東日本での大気中放射性セシウムの時空間分布(その3)：関東地方での複雑な輸送過程の解明
- B355 五十嵐 康人（気象研） 放射性セシウムの大気への再浮遊でバイオエアロゾルが果たす役割
- B356 張 代洲（熊本県立大環境共生） 九州西岸における偏西風中のバイオエアロゾルの変動
- B357 田中 泰宙（気象研） 極東の森林・泥炭火災の煙は北日本にどのくらい飛来しているか：エアロゾル再解析による研究
- B358 武 靖（名大院環境） Regional Characteristics of Recent Dust Occurrence and Its Controlling Factors in East Asia
- B359 鄭 運先（名大ISEE） Asian dust effect on the cloud and precipitation over Korean Peninsula

座長：伊藤 彰記（海洋研究開発機構）

- B360 馬場 賢治（酪農大 環境） CALIPSOを用いた2012年4月のダストストームの時空間変遷について
- B361 河合 慶（名大院環境） ライダーネットワークが捉えた寒冷前線によるダスト舞い上げの空間構造
- B362 神 慶孝（環境研） シーロメータCHM15kとライダーによるエアロゾル鉛直プロファイルの比較観測
- B363 佐藤 陽祐（理研計算科学） 全球雲解像実験による黒色炭素の北極への輸送
- B364 伊藤 彰記（JAMSTEC） 南大洋域へ供給される鉱物エアロゾルに関する全球エアロゾル化学輸送モデル解析
- B365 五藤 大輔（環境研） モデル水平分解能のエアロゾル濃度への影響
- B366 吉田 真由美（JAXA/EORC） JAXAひまわりモニタの開発（1）：多波長イメージャによるエアロゾル推定アルゴリズム
- B367 菊池 麻紀（JAXA/EORC） JAXAひまわりモニタの開発（2）：時空間変動特性を用いたエアロゾル1時間合成アルゴリズム
- B368 弓本 桂也（気象研） ひまわり8号観測を用いたエアロゾル同化予測システムの開発

大会第3日 10月28日(金) 13:30～17:00 スペシャル・セッション

C 会場

気象情報の活用および気象講座・気象教育

座長：多々良 秀世（気象予報士会）

- C351 多々良 秀世 (camj) 「クロスロード防災気象情報編」による防災啓発支援—気象予報士等、県内の団体での活用を支援—
- C352 荒川 知子 (田園調布学園) アクティブ・ラーニング型気象教育による防災意識の向上(2)
- C353 安達 史典 (愛知県河川課) 災害避難カードを活用した水害に対する地域主体の取組の試行について
- C354 植松 久芳 (予報士会) ～適切な避難行動のありかたについて～
- C355 若月 泰孝 (茨城大理) 広島豪雨における気象防災情報の伝達と避難行動に関する現地調査
- C356 白石 晶二 (気象予報士会) 気象災害から命を守る(その3)
- C357 龍山 康朗 (アナウンス部) 放送メディアが試みる「防災情報が伝わる工夫」
- C358 岡田 みはる (ウェザーマップ) テレビの天気予報に天気図が登場することの大切さ～防災の観点から～
- C359 内山 常雄 (気象予報士会) 健康被害を防ぐための気温情報の提供
- C360 土井 修二 (気象予報士会) 地方在住予報士の気象情報活用法

座長：與語 基宏（気象予報士会）

- C361 榎野 泰夫 (気象予報士会) 聴覚障がい者への気象防災講座
- C362 大矢 康裕 (WFT、気象予報士会) 山岳防災におけるDIG（災害図上訓練）の活用について
- C363 安福 英俊 (神戸市灘消防署) 消防機関における気象情報の活用事例と気象教育への提言
- C364 小池 佳奈 (エムティーアイ) 「3D雨雲ウォッチ～フェーズドアレイレーダ～」アプリによる実証実験2年目
- C365 滋野 哲秀 (龍大) スマートフォンを活用した気象知識の普及について
- C366 吉川 契子 (清水西高校) 高校「地学基礎」気象分野の指導上の工夫
- C367 加藤 内蔵進 (岡大・教育・理科) 降水の『質』の多様性や季節サイクルの中での広域気団分布にも注目した日本の梅雨に関する中学校での授業実践
- C368 関谷 不二夫 (一社) 日本気象予報士会) 子供たちに天気の楽しさを教える
- C369 奥村 政佳 (横浜国大) 気象情報を利活用した気象・防災教育の取り組み～アイコンで構成された天気予報・注意報警報アプリケーションの開発～

大会第3日 10月28日(金) 13:30~17:00 スペシャル・セッション

D 会場

気候変動が日本・東アジア域の降水現象の変化に及ぼす影響の理解に向けて

座長：濱田 篤（東大大気海洋研）

- D351 舘野 愛実（北大院環境） 中緯度の対流圏上層の渦位擾乱と降水の総観規模変動の関係
- D352 横山 千恵（東大大気海洋研） GPM KuPR観測による中緯度降水の特徴—熱帯降水との対比から—
- D353 小野 茉莉花（東大大気海洋研） GPM-DPRデータを用いた降水システム特性と環境場の関係
- D354 濱田 篤（東大大気海洋研） 日本域の極端降水・極端対流イベントの降水特性・環境場の違い
- D355 大塩 健志（気象庁気候情報） CMIP5データにおける日本の極端降水の現在気候再現性評価に向けて
- D356 鬼頭 昭雄（筑波大生命環境） 温暖化時の年最大日降水量の変化と台風の役割
- D357 佐藤 尚毅（学芸大） 気候変動が日本・東アジア域の降水現象の変化に及ぼす影響の理解に向けて
- D358 友近 全志（富山大院理工） 北陸における初冬季の降水量増加傾向と熱帯インド洋の降水活動との関係
- D359 宮坂 貴文（東大先端研） 海洋前線帯上の移動性擾乱に伴う上昇流に対する力学・熱力学的寄与

座長：小坂 優（東大先端研）

- D360 吉田 聡（JAMSTEC/APL） 北太平洋爆弾低気圧活動長期変動に伴う低気圧発達過程の変化
- D361 西井 和晃（三重大院生物資源） 季節平均降水量の潜在的予測可能性に対する中緯度海洋の役割
- D362 関澤 愷温（東大先端研） 海洋大陸における対流活動変動に伴う熱帯から冬季東アジアへの遠隔影響
- D363 勝部 豪（千葉大院理） APHRO_JPに見られた沖縄梅雨の数十年規模変動
- D364 松村 伸治（北大院地球環境） PDOによる太平洋高気圧とオホーツク海高気圧の変動
- D365 小坂 優（東大先端研） 階段状の地球温暖化のペースメーカーとしての熱帯太平洋変動
- D366 楠 昌司（気象研） 雨のティッピング年の将来予測にどう信頼度情報を付加するか？
- D367 尾瀬 智昭（気象研） 東アジアの温暖化時降水量予測とモデル依存性
- D368 遠藤 洋和（気象研） 温暖化に伴うアジアモンスーンの変化：SST効果とCO₂効果

大会第1日 10月26日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 阿部 康一 (公財) 環境科学技術研究所) 大型再処理施設から試験運転時に排出されたI-129の大気拡散
- P102 中坪 稔 (名大院生農) 永久凍土の熱・水特性の変化が東シベリア・カラマツ林の森林水循環に与える影響
- P103 橋本 明弘 (気象研) JMA-NHMを用いたアラブ首長国連邦気象再現実験
- P104 早崎 将光 (環境研) 日本におけるPM広域高濃度時の気温逆転層の動態
- P105 佐川 正人 (釧路高専) 知床半島羅臼における強風時の気圧変動位相差
- P106 桶本 勇二 (防衛大地球海洋) ウィンドプロファイラを活用した強風ナウキャスト
- P107 志藤 文武 (気象研) 東京大手町露場周辺における風の微気候とその季節変化
- P108 吉田 信夫 (多治見の気温をはかる会) 2015年夏の気温調査からみた多治見の気温分布の特徴
- P109 北島 育美 (阪大院工) 日本の主要都市における降雨に対するヒートアイランド現象の影響の数値解析
- P110 伊藤 佑 (東北大院理) 平成27年9月関東・東北豪雨の宮城県における発生要因
- P111 藤田 実季子 (JAMSTEC) GPS降水量を用いたCCスケーリングの再考
- P112 飯泉 仁之直 (農研機構・農環研) 気象外力データセット間の気温・降水極端指標の再現性の差異
- P113 北畠 尚子 (気象大) 1995年11月7-8日に急発達した低気圧のJRA-55再解析における構造
- P114 吉田 龍平 (福島大理工) 高解像度アンサンブル気象データを用いた冷害の発生予測
- P115 松下 拓樹 (土木研) 2014年2月の大雪時の雪崩発生条件に関する一考察(4)
- P116 戸塚 紗織 (株式会社エムティーアイ) 「3D雨雲ウォッチ〜フェーズドアレイレーダ〜」アプリとVRを活用した児童向け防災意識向上のためのイベント実験
- P117 加藤 亮平 (防災科研) 局地的大雨に対するナウキャストと数値予測を併合させたブレンディング手法の適用可能性-2015年7月24日渋谷駅冠水事例-
- P118 大泉 伝 (JAMSTEC) スーパーコンピュータ「京」を用いた豪雨の広域・高解像度実験
- P119 和田 章義 (気象研) NHM-LETKF大気波浪海洋結合システムにおける海面水温の制御変数化
- P120 菊地 亮太 (東北大流体研) グランドアンサンブル予報を用いたリアルタイムデータ同化
- P121 青梨 和正 (気象研) Neighboring Ensembleに基づく変分同化法を使った2015年台風18号事例への衛星搭載マイクロ波放射計輝度温度の同化実験
- P122 山口 弘誠 (京大防災研) 豪雨の「種」を捉えるための積雲生成シミュレーション
- P123 栃本 英伍 (東大大気海洋研) 2015年9月1日に対馬の海上で突風を引き起こした小スケール渦の特徴
- P124 林 修吾 (気象研) 高解像度モデルによる2016年冬季の再現実験
- P125 櫻井 南海子 (防災科研) ドップラーライダーで観測された積乱雲発生前後の下層風変動
- P126 山下 克也 (防災科研・雪氷) 新潟県上越市における降水量の捕捉特性
- P127 馬場 賢治 (酪農大 環境) 冬季石狩平野における筋状雲による降雪がもたらす地上気温と気圧の変化について
- P128 折笠 成宏 (気象研) エアロゾル濃縮器を利用した氷晶核のモニタリング観測
- P129 工藤 玲 (気象研) CALIPSO-MODIS複合解析によるエアロゾルプロダクトの開発

大会第1日 10月26日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P130 宮崎 理紗 (JAXA/EORC) GCOM-C/SGLI大気プロダクト及びその検証計画の紹介
- P131 渡邊 武志 (東海大TRIC) 東アジア・オセアニア地域における温室効果ガス観測衛星の雲なし観測の影響
- P132 藤枝 鋼 (気象研) 日本国内における地表面付近の下向き長波長放射量推定法の改良(その2)
- P133 小司 禎教 (気象研) ひまわり8号水蒸気バンド, 可降水量と地上比湿を用いた水蒸気鉛直構造の推定
- P134 広瀬 正史 (名城大) 地表近傍降水鉛直分布に関する入射角依存性の低減
- P135 山地 萌果 (JAXA/EORC) GPM/DPR データを用いたGSMaP用の雨滴粒径分布データベースの作成
- P136 酒巻 洋 (三菱電機) ドップラーライダー用動揺補正方式の改良
- P137 中井 専人 (防災科研・雪氷) レーダーと遠隔地光学式ディストロメーターの観測値即時処理系
- P138 前坂 剛 (防災科研) Kaバンド雲レーダー観測における大気減衰の影響について
- P139 佐々 浩司 (高知大理) SCOPE小型レーダーネットワーク計画
- P140 小林 隆久 (電中研) GPM・DPRによる降雪観測時の2周波レーダー反射因子の差—2— Mixed phase
- P141 菊池 博史 (阪大院工) X帯気象用二重偏波フェーズドアレイレーダの数値シミュレーションによる観測精度の評価
- P142 青木 誠 (NICT) PAWRのドップラー速度測定精度検証—ドップラーライダーで観測された降雨スペクトルとの比較—
- P143 諸富 和臣 (日本無線) 日本無線製フェーズドアレイ気象レーダの反射強度評価
- P144 早野 真理子 (古野電気) 小型Xバンド二重偏波レーダーを用いた雹の検知
- P145 薄井 聖 (石川県立大) 冬季発雷の予測—安定度指数による評価—
- P146 山浦 剛 (理研計算科学) 浅水波方程式を用いた演算精度限界の理論的実証
- P147 村橋 究理基 (北大院理) SCALE-LESを用いた火星大気高解像度計算で得られた大気最下層の循環構造
- P148 大山 博史 (名大ISEE) 陸別のミリ波分光放射計で観測された1 hPa付近の冬季のオゾン濃度変動について
- P149 星 一平 (新潟大) 北極海氷域変動に伴う成層圏突然昇温の特徴
- P150 江口 菜穂 (九大応力研) 2011年北半球初冬の間層圏・成層圏のジェットの変遷について
- P151 吉田 康平 (気象研) MRI-ESM2によるQBOの力学的特性と気候変動応答
- P152 太田 芳文 (気象研) 多重散乱の効果を含む線形放射モデルの構築と感度解析への応用
- P153 中山 智喜 (名大ISEE) イソプレッシャー起源の二次有機エアロゾルの光学特性:酸化過程による違い
- P154 岡村 凜太郎 (東北大院理) SCALE-LESデータを用いたMODISの雲物理量の推定における雲の不均質性の影響の解明
- P155 坂西 溪 (海洋大) 放射伝達モデルRstarへの双方向反射関数BRDFの導入と精度の検討
- P156 大竹 秀明 (産総研) 高解像度モデルによる2015年夏季の再現実験結果—日射量予測の検証—
- P157 佐伯 田鶴 (JAMSTEC) Decadal trends in regional CO₂ fluxes estimated from atmospheric inversions

大会第1日 10月26日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P158 出原 雅也 (名大院理学) 実大気における連続観測を目的としたオープンパスレーザー分光メタン検出器の校正
- P159 山下 陽介 (JAMSTEC) 人工的なトレーサーを用いた対流圏界面付近の物質交換量推定
- P160 市井 和仁 (JAMSTEC) データ駆動型モデルで推定された陸域CO₂収支の変動把握
- P161 杉田 考史 (環境研) シベリア上空のGOSAT (熱赤外バンド) と航空機観測によるメタンの比較
- P162 秋吉 英治 (環境研) 3つの化学気候モデルによる北半球中高緯度域オゾン層破壊の塩素濃度依存性
- P163 松枝 秀和 (気象研) CONTRAILで観測された上部対流圏のメタン濃度の分布と変動
- P164 森本 真司 (東北大院理) 南極昭和基地における大気中の酸素・二酸化炭素濃度の変動
- P165 甲斐 憲次 (名大院環境) モンゴル国ダランザドガドにおけるアジアダストの鉛直分布-2016年春季-
- P166 渡辺 幸一 (富山県立大) 回転翼航空機を利用した富山県における上空大気中の過酸化水素濃度の測定 (II)
- P167 入口 武史 (気象研) LGEMによる台風強度予測に向けた開発
- P168 小山 亮 (気象研) 台風の発達と上層アウトフローの強さとの関係の統計調査
- P169 藤原 圭太 (九大院理) インド洋SST改変実験にみられる台風と水蒸気コンベアベルトの相互作用の変化
- P170 八代 尚 (理研計算科学) 全球雲解像モデルで再現された熱帯域での降水日周期変動の解像度依存性
- P171 辻 宏樹 (九大院理) 加熱強制の与え方が台風を模した渦の大きさの変化に与える影響
- P172 田盛 智翔也 (琉球大理) 2015年台風第15号の急発達期における壁雲の構造変化
- P173 辻野 智紀 (宇地研) 2010年台風13号 (MEGI) の強度変化に対する波浪の役割
- P174 北 祐樹 (東大院新領域) 再解析データにおける日本周辺の爆弾低気圧の再現性の検証
- P175 山田 恭平 (極地研) 昭和基地における2015年1月の強風現象の解析
- P176 山崎 哲 (JAMSTEC) 2010年夏のヨーロッパ・ロシアブロッキングの予測可能性変動における移動性擾乱の影響
- P177 高橋 信人 (宮城大) 1880年以降の日本付近における前線帯の南北変動
- P178 安富 奈津子 (京大防災研) 観測データに基づく地上気温気候平均場
- P179 小山 博司 (東大大気海洋研) 日本域の歴史的観測データのデジタル化
- P180 石原 幸司 (気象庁気候情報) 観測所の移転に伴う階級別日数の補正
- P181 高橋 洋 (首都大) 東南・南アジアモンスーンのオンセット前後における土壌水分の降水特性への影響
- P182 村田 昭彦 (気象研) 雲解像地域気候モデルによる日本の降水量の再現性
- P183 堀 直登 (山形地方気象台) 単層都市キャノピースキームSPUCの積雪モデルの改良
- P184 足立 幸徳 (理研計算科学) 関西地域の夏季降水を対象としたSCALEによる将来変化予測 (その2)
- P185 李 捷 (名大院環境) CMIP5気候モデルの降雪再現性の評価
- P186 阿部 学 (JAMSTEC) CMIP5マルチモデルにおける北極海の雲量と雲の放射強制力の再現性

大会第1日 10月26日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P187 仲江川 敏之 (気象研) オーストラリアを対象としたノンパラメトリック法による将来気候アナログ
- P188 井上 知栄 (首都大都市環境) インドにおける降水量の季節進行とその長期変動
- P189 渡邊 英樹 (東大院新領域) 夏季日本の家庭用エネルギー消費と熱帯の気候変動現象の関係
- P190 柳澤 和紀 (阪大院工) 重回帰分析と作物収量モデルを用いた気候変動による兵庫県のコメ収量予測
- P191 安孫子 悟 (首都大院都市環境) 日本の降雪深と大気循環場の関係とその年々変動
- P192 大泉 三津夫 (気象大) NHRCM の都市キャノピースキームに導入した積雪サブモデルの特性
- P193 一柳 錦平 (熊本大院先端科学) 日本における降水同位体比の年加重平均値の推定
- P194 遠藤 伸彦 (農環研) 日別降水発現に対するマルコフ連鎖モデルのパラメータの推定とその空間分布の特徴—関東地方東部を事例として—
- P195 荒井 建伍 (富山大院理工) EOF解析から見た冬季の北陸地域の気象状況の時間変化
- P196 浅野 裕樹 (筑波大院生命環境) 箱根町仙石原で発生する霧の観測研究
- P197 村崎 万代 (気象研) JRA-55CHSを境界条件に用いたNHMによる大気応答その3梅雨期の日本域における対流活動の変化

大会第3日 10月28日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 岡田 将誌 (農環研) 気候・水資源制約下での農業適応策としての灌漑面積拡大の有効性
- P302 柳瀬 篤志 (名大院環境) 『Pre-YMC』観測実験においてスマトラ島西岸で観測された降水システムの伝播特性
- P303 佐藤 友徳 (北大院地球環境) メガラヤ丘陵周辺における降水日変化の南北非対称について
- P304 松下 拓樹 (土木研) 長野県乗鞍高原付近で発生した雨水～2016年1月29日の事例～
- P305 佐々木 博三 (日大院総合基礎) 宮崎平野における海風の特徴
- P306 吉田 敏哉 (京大院理) 実在都市における粗度パラメータと流れ場との関係性に関するLES解析
- P307 高橋 洋 (首都大) 日本近海の海面水温が関東地方の気温に与える影響 -地域スケールの水蒸気温室効果-
- P308 清野 直子 (気象研) 首都圏における対流性降水環境場の観測と数値実験 (2)
- P309 中前 久美 (高知工科大) 高知県における過去の雨量データから解析した豪雨の頻度分布
- P310 下瀬 健一 (防災科研) 変分法を用いた複数台ドップラー解析において観測演算子が下層水平風速場の解析精度に与える影響
- P311 藤田 実季子 (JAMSTEC) アンサンブル予報データを用いた低頻度事象の統計解析-「平成27年9月関東・東北豪雨(鬼怒川)」を例に-
- P312 細井 杏里 (千葉大CEReS) TRMM/PRで検出したアジア域における極端な降雨イベントの発生場所について
- P313 松尾 奈緒子 (三重大生物資源) 降水の酸素・水素安定同位体比を利用した紀伊半島における降水への森林の影響の解明
- P314 岩井 尚晴 (阪大基礎工) ニューラルネットワークを用いた日平均気温の予測
- P315 野村 光春 (電中研) 相当温位を用いた雨雪判別の可能性の検討
- P316 石垣 雄太 (古野電気) Xバンド気象レーダーを用いた都市小河川の水位予測
- P317 三浦 裕司 (いであ) 現象のスケールを考慮した短時間予測雨量の精度向上の取組
- P318 牛山 朋来 (土研ICHARM) 2015年鬼怒川洪水のLETKF解析のメンバー数依存性
- P319 吉岡 大秋 (京大院理) アンサンブルダウンスケール実験による台風発生メカニズムに関する解析-2016年ハリケーン PALI の事例-
- P320 中野 満寿男 (JAMSTEC) 正二十面体格子全球非静力学モデルにおける単精度の可用性の検討～傾圧不安定波
- P321 吉岡 真由美 (名大ISEE) 雲解像モデルCReSSを用いたフェーズドアレイデータ同化実験: 2015年6月21日の積乱雲の事例
- P322 山崎 行浩 (九大院理) 発達する温帯低気圧による関東地方での竜巻等突風の発生環境場
- P323 岩井 宏徳 (NICT) 海上竜巻の傾きの時間・高度変化
- P324 吉田 智 (気象研) 庄内平野における冬季雷3次元観測の初期解析
- P325 妻鹿 友昭 (阪大院工) 新しいGSMaP雨量計補正降水マップ(GSMaP Gauge)の検証
- P326 山田 芳則 (気象研) 石狩平野における大雪発生時の降雪雲や気流の特徴
- P327 原田 正輝 (京大院理) 過冷却水滴に着目した降雪システムの鉛直構造の解析
- P328 橋本 明弘 (気象研) 多次元ビン法微物理モデルを用いたバルク法粒子クラスの検討

大会第3日 10月28日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P329 西澤 智明 (環境研) ライダーデータを用いたエアロゾルコンポーネント導出パッケージの開発
- P330 小野 遼太 (東海大) エアロゾルの影響に着目した衛星推定日射量の地上検証
- P331 西澤 慶一 (電中研) 静止気象衛星から観測された散乱日射強度に基づく地上日射量の推定法
- P332 豊嶋 紘一 (千葉大CEReS) ひまわり8号Griddedプロダクトの公開と精密幾何補正前後の位置補正比較
- P333 古澤 文江 (名大宇地研) 衛星観測データを用いた降水プロダクト間の比較
- P334 岩間 夏紀 (長大院工学) 降水強度と質量重み付き平均粒径の解析
- P335 瀬古 弘 (気象研) 航空機からのSSRモードSダウンリンクデータの同化実験 (その2)
- P336 永井 智広 (気象研) 局地的豪雨予測のための機動観測用水蒸気ラマンライダーの開発 (II)
- P337 小川 まり子 (神戸大地域連携) 統計的手法を用いたビデオゾンデの定量性検討に関する研究
- P338 金子 有紀 (JAXA/EORC) 2台のKa帯レーダによる降水粒子および融解層の観測
- P339 吉村 洸太郎 (高知大院理) 高知大MPレーダーによるレーダーネットワーク
- P340 藤原 達朗 (阪大院工) Ku帯二重偏波レーダを用いた偏波観測精度の評価
- P341 佐野 哲也 (NICT) 吹田PAWR観測の降雨減衰の補正への国土交通省XRAIN観測データの利用
- P342 南雲 信宏 (気象研) 二重偏波レーダーで観測された再凍結層の特徴-2016年1月29日の事例-
- P343 道本 光一郎 (ウェザー・サービス) フェーズドアレイ気象レーダー (PAWR) による降水量推定に向けた取り組み
- P344 Nguyen Vinh Xuan Tien (北大院環境) Global WRF simulations with the oceanic thermal forcing
- P345 角田 裕磨 (九大院総理工) 厚い雲で覆われた惑星の自転速度が大気大循環に与える影響
- P346 山本 直人 (京大院理) 3次元のスペクトル法を用いた静水圧大気モデルの作成
- P347 幸若 裕也 (福岡大院理) 北半球冬季の熱帯下部成層圏にみられる雲の経年変動
- P348 劉 光宇 (九大院理) 南極域におけるオゾン変動と力学場の関係
- P349 三村 慧 (北大院環境) 二粒径エアロゾル分布条件下での熱帯対流圏界層内巻雲生成
- P350 安井 良輔 (東大院理) 中間圏および下部熱圏の運動量収支
- P351 佐久間 隼司 (新潟大院自然科学) 不均質雲における三次元放射伝達モデルの精度検証
- P352 谷川 朋範 (気象研) 海氷の放射伝達モデルを用いた大気・積雪が海氷の波長別アルベドに与える影響
- P353 石田 春磨 (気象研) 高解像度大気モデルにおける広帯域赤外フラックスの3次元放射伝達計算
- P354 及川 栄治 (環境研) CloudSat/CALIPSO衛星データを用いた地球の放射収支の見積もり
- P355 今川 翔平 (富山大学院理工) 沖縄・辺戸岬における太陽放射観測から得られた雲の光学的特性
- P356 白石 浩一 (福岡大理) 福岡でライダーにより観測された大気エアロゾルの蛍光特性
- P357 梅澤 拓 (環境研) CONTRAILで観測されたアジア上空のCO₂変動とアジアンモンスーンとの関連
- P358 原 圭一郎 (福大・理) 海洋大気境界層内のブラックカーボン濃度水平分布

大会第3日 10月28日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P359 菅原 広史 (防大) 首都圏広域における二酸化炭素排出の測定
- P360 財前 祐二 (気象研) 冬季つくばにおけるサブミクロンエアロゾルの混合状態
- P361 石島 健太郎 (JAMSTEC) Passive tracerを用いたNICAMの大気輸送の検証
- P362 藤田 遼 (東北大院理) ユーラシア大陸上空の対流圏界面領域における大気中CH₄濃度とその炭素・水素同位体比の季節変動の解析
- P363 渡辺 幸一 (富山県立大) 北陸地方におけるPM_{2.5}中の水溶性イオン成分の連続測定
- P364 甲斐 憲次 (名大院環境) モンゴル国の乾燥地域におけるアジアダストの水平分布解析
- P365 斎藤 龍生 (東京海上研究所) 確率台風モデルを用いた台風発生数の季節予報精度向上に向けた取組
- P366 高橋 直也 (東北大院理) Cloud Object解析手法を用いた熱帯域の雲特性と環境場の関係の解明
- P367 松葉 史剛 (京大院理) 2007年1月に発生したボルネオ渦に関する数値実験
- P368 三輪 夏菜 (筑波大院生命環境) ENSOの遷移期における北西太平洋熱帯低気圧の発生数の特徴
- P369 山根 悠介 (常葉大) バングラデシュにおける降水強度の季節変動について
- P370 福島 あずさ (神戸学院大) インド・アッサム州北部における局地的降雨の事例-日降雨量グリッドデータ (IMD4) と地点観測データの比較-
- P371 寺尾 徹 (香川大教育) 8月の西武北太平洋モンスーン抑制とインド亜大陸北東部の洪水
- P372 須長 智洋 (筑波大院生命環境) 自己組織化マップ (SOM) を用いた AO と NAO の違いの解析
- P373 雨貝 裕介 (筑波大院生命環境) 南岸低気圧活動を規定する太平洋の大気海洋結合変動
- P374 瀧川 宏樹 (筑波大院生命環境) 大気海洋陸面結合系から見た夏季西アフリカモンスーン
- P375 安藤 雄太 (三重大院生物資源) 初冬の極夜ジェットの季節進行の停滞とシベリアの寒冷化
- P376 永野 隆士 (東京海上研究所) 気候変動による淀川流域における洪水リスクの確率的評価
- P377 伊藤 昭彦 (環境研) モンスーンアジアにおける陸域生態系への気候変動影響: 複数モデルを用いた解析
- P378 若月 泰孝 (茨城大理) 中部山岳域の積雪の気候変化と昇温
- P379 田上 雅浩 (東大院工) 同位体領域気候モデルを用いた日本域における降水の同位体比の高解像度再現実験
- P380 西森 基貴 (農研機構・農環研) 経験的統計ダウンスケーリング手法(ESD)による複数気候要素の変動再現-力学ダウンスケール結果との比較-
- P381 山崎 稜太 (日本大院総合基礎) 浦河における風速の急変動メカニズム
- P382 水瀬 正雄 (長岡市) 日本における大気圏外の太陽輻射量と気温の日別平滑年値の関係について
- P383 田中 朱美 (北海道農研センター) 北海道農業の気候変動影響評価に向けた気候予測情報の統計的ダウンスケーリング
- P384 増田 宇将 (筑波大院生命環境) 北半球における降雪、積雪、融雪の将来変化
- P385 塩竈 秀夫 (環境研) 気候変動の検出と要因分析に関するモデル相互比較計画 (DAMIP/CMIP6)
- P386 牛上 直斗 (筑波大院生命環境) チベット高気圧の季節的な発達における非断熱加熱と背景風の相互作用

大会第3日 10月28日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P387 野津 雅人 (首都大) 南シナ海北西部沿岸における冬季二重気温逆転層発生についての熱収支解析
- P388 小林 ちあき (気象研) 対流圏子午面循環におけるENSOの影響
- P389 梶川 義幸 (理研計算科学) 東アジアの冬季・夏季モンスーン年々変動を繋ぐ東シナ海の海面水温の役割
- P390 山田 洋平 (JAMSTEC) 2015年台風シーズンのアンサンブル再現実験
- P391 石原 幸司 (気象庁気候情報) MRI-NHRCM05による不確実性を考慮した日本域の気候変化予測
- P392 野崎 瑛一 (筑波大院生命環境) オホーツク海高気圧の季節進行における海洋・陸面フィードバックの定量化
- P393 木村 浩彰 (日本大院総合基礎) 北陸地方における局地的豪雪の分布パターン
- P394 原 政之 (埼玉県CESS) 東京都市圏における緑地の暑熱環境緩和効果の定量的評価
- P395 栗林 正俊 (長野県環保研) 長野県における長期的な気象観測値の詳細解析
- P396 福井 真 (東北大院理) 従来型観測のみを用いた日本域再解析システムの降水量の再現性
- P397 野坂 真也 (気象研) やまじ風の再現に関する解像度の影響

講演者索引

< A >

Abe Koichi (阿部 康一)	P101
Abe Manabu (阿部 学)	P186
Abiko Satoru (安孫子 悟)	P191
Adachi Fuminori (安達 史典)	C353
Adachi Sachiho (足立 幸穂)	P184
Adachi Toru (足立 透)	A105
Aiki Hidenori (相木 秀則)	D163
Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治)	P162
Amagai Yusuke (雨貝 裕介)	P373
Amemiya Arata (雨宮 新)	D162
Ando Hiroki (安藤 紘基)	D204
Ando Yuta (安藤 雄太)	P375
Aoki Makoto (青木 誠)	P142
Aoki Teruo (青木 輝夫)	D304
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	P121
Arai Kengo (荒井 建伍)	P195
Arakawa Tomoko (荒川 知子)	C352
Araki Kentaro (荒木 健太郎)	A114
Asano Yuki (浅野 裕樹)	P196
Awazu Taeka (粟津 妙華)	B205

< B >

Baba Kenji (馬場 賢治)	B360
Baba Kenji (馬場 賢治)	P127
Baba Yuya (馬場 雄也)	A167
Baron Philippe (Baron Philippe)	C306

< C >

Chen Ying-wen (チェン インウエン)	A301
Cruz Faye Abigail (クルツ フェイ)	A206

< D >

Doi Shuji (土井 修二)	C360
-------------------	------

< E >

Eguchi Nawo (江口 菜穂)	B106
Eguchi Nawo (江口 菜穂)	P150
Endo Hirokazu (遠藤 洋和)	D368
Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦)	P194
Enomoto Takeshi (榎本 剛)	B202

< F >

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳)	A361
Fujibe Fumiaki (藤部 文昭)	A212
Fujieda Tsuyoshi (藤枝 鋼)	P132

Fujikawa Masahiro (藤川 雅大)	D154
Fujita Mikiko (藤田 実季子)	P111
Fujita Mikiko (藤田 実季子)	P311
Fujita Ryo (藤田 遼)	P362
Fujiwara Keita (藤原 圭太)	P169
Fujiwara Tatsuro (藤原 達朗)	P340
Fukui Shin (福井 真)	P396
Fukushima Azusa (福島 あずさ)	P370
Furuzawa Fumie (古澤 文江)	P333

< G >

Geng Biao (耿 驍)	D107
Goto Daisuke (後藤 大輔)	B310
Goto Daisuke (五藤 大輔)	B365

< H >

Hamada Atsushi (濱田 篤)	B113
Hamada Atsushi (濱田 篤)	D354
Hara Keiichiro (原 圭一郎)	P358
Hara Masayuki (原 政之)	P394
Harada Masaki (原田 正輝)	P327
Harada Yayoi (原田 やよい)	D161
Hasegawa Akira (長谷川 聡)	A205
Hashimoto Akihiro (橋本 明弘)	P103
Hashimoto Akihiro (橋本 明弘)	P328
Hashino Tempei (端野 典平)	B102
Hattori Yasuo (服部 康男)	C154
Hayano Mariko (早野 真理子)	P144
Hayasaki Masamitsu (早崎 将光)	C206
Hayasaki Masamitsu (早崎 将光)	P104
Hayashi Shugo (林 修吾)	P124
Hirano Soichiro (平野 創一朗)	D309
Hirockawa Yasutaka (廣川 康隆)	A160
Hirose Hitoshi (広瀬 民志)	B112
Hirose Masafumi (広瀬 正史)	P134
Hojo Yuki (北城 佑記)	C163
Honda Meiji (本田 明治)	D305
Honda Takumi (本田 匠)	B154
Hori Naoto (堀 登直)	P183
Horiguchi Mitsuaki (堀口 光章)	C160
Horinouchi Takeshi (堀之内 武)	D207
Hoshi Kazuhira (星 一平)	P149
Hoshina Yu (保科 優)	B309
Hosoi Anri (細井 杏里)	P312

< I >

Ichii Kazuhito (市井 和仁)	P160
Ichianagi Kimpei (一柳 錦平)	P193
Iga Keita (伊賀 啓太)	D167
Igarashi Yasuhito (五十嵐 康人)	B355
Iizumi Toshichika (飯泉 仁之直)	P112
Ikegami Masaaki (池上 雅明)	B304
Imada Yukiko (今田 由紀子)	A208
Imakawa Shohei (今川 翔平)	P355
Inai Yoichi (稲飯 洋一)	B301
Inoue Hanako (猪上 華子)	A103
Inoue Jun (猪上 淳)	D102
Inoue Tomoshige (井上 知栄)	P188
Iriguchi Takeshi (入口 武史)	P167
Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之)	B163
Ishida Haruma (石田 春磨)	P353
Ishidoya Shigeyuki (石戸谷 重之)	B311
Ishigaki Yuta (石垣 雄太)	P316
Ishihara Koji (石原 幸司)	P180
Ishihara Koji (石原 幸司)	P391
Ishijima Kentaro (石島 健太郎)	P361
Ishimoto Hiroshi (石元 裕史)	D158
Ishitsu Naoki (石津 尚喜)	A104
Ito Akihiko (伊藤 昭彦)	P377
Ito Akinori (伊藤 彰記)	B364
Ito Junshi (伊藤 純至)	C153
Ito Kosuke (伊藤 耕介)	A356
Ito Kosuke (伊藤 耕介)	A357
Ito Naoki (伊藤 直)	A152
Ito Tadashi (伊藤 忠)	B211
Ito Tasuku (伊藤 佑)	P110
Iwabuchi Hironobu (岩渕 弘信)	B104
Iwai Hironori (岩井 宏徳)	P323
Iwai Naoharu (岩井 尚晴)	P314
Iwama Natsuki (岩間 夏紀)	P334
Iwao Koki (岩尾 航希)	D311
Iwasaki Hiroyuki (岩崎 博之)	A108
Iwasaki Shinsuke (岩崎 慎介)	A115
Iwashita Hisato (岩下 久人)	A106
Izuhara Masaya (出原 雅也)	P158
Izumi Toshiharu (泉 敏治)	C305

< J >

Jin Yoshitaka (神 慶孝)	B362
----------------------	------

Jitsumoto Masaki (實本 正樹)	B209	Koshin Dai (小新 大)	D310	Minda Haruya (民田 晴也)	C310
Jung Woonseon (鄭 運先)	B359	Koshiro Tsuyoshi (神代 剛)	B107	Misumi Ryohci (三隅 良平)	A166
< K >		Kotsuki Shunji (小槻 峻司)	B166	Mitsudera Humio (三寺 史夫)	C211
Kai Kenji (甲斐 憲次)	P165	Kowaka Yuya (幸若 裕也)	P347	Miura Yuji (三浦 裕司)	P317
Kai Kenji (甲斐 憲次)	P364	Koyama Hiroshi (小山 博司)	P179	Miwa Kana (三輪 夏菜)	P368
Kajikawa Yoshiyuki (梶川 義幸)	P389	Kudo Rei (工藤 玲)	P129	Miyasaka Takafumi (宮坂 貴文)	C204
Kamahori Hirota (釜堀 弘隆)	A213	Kunii Masaru (国井 勝)	B162	Miyasaka Takafumi (宮坂 貴文)	D359
Kamijo Kenichi (上條 賢一)	C312	Kuribayashi Masatoshi (栗林 正俊)	P395	Miyazaki Risa (宮崎 理紗)	P130
Kanada Sachie (金田 幸恵)	A363	Kuroda Yuhji (黒田 友二)	A312	Mizuse Masao (水瀬 正雄)	P382
Kaneko Yuki (金子 有紀)	P338	Kuruma Yuki (車 裕輝)	B351	Mori Kazumasa (森 一正)	A352
Kanno Yuki (菅野 湧貴)	D302	Kusunoki Kenichi (楠 研一)	A101	Mori Takashi (森 昂志)	C301
Kashimura Hiroki (榎村 博基)	D210	Kusunoki Shoji (楠 昌司)	D366	Morimoto Shinji (森本 真司)	P164
Kashiwayanagi Taro (柏柳 太郎)	A109	Kuwana Yuusuke (桑名 佑典)	A306	Morotomi Kazuomi (諸富 和臣)	P143
Katagiri Shuichiro (片桐 秀一郎)	D157	Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡)	D360	Moteki Kosaku (茂木 耕作)	D103
Kato Hisashi (加藤 央之)	C104	< L >		Murahashi Kuriki (村橋 究理基)	P147
Kato Kuranoshin (加藤 内蔵進)	C205	Le Duc (レ デュック)	B168	Murakami Hideyo (村上 英世)	A168
Kato Kuranoshin (加藤 内蔵進)	C367	Li Jie (李 捷)	P185	Murata Akihiko (村田 昭彦)	P182
Kato Ryohei (加藤 亮平)	P117	Lien Guo-yuan (Lien Guo-Yuan)	B159	Murazaki Kazuyo (村崎 万代)	P197
Kato Teruyuki (加藤 輝之)	A113	Liu Guangyu (劉 光宇)	P348	< N >	
Kato Teruyuki (加藤 輝之)	A156	< M >		Nagai Tomohiro (永井 智広)	P336
Katsube Go (勝部 豪)	D363	Maeda Shuhei (前田 修平)	A311	Nagamatsu Shimpei (永松 慎平)	C105
Katsumata Masaki (勝俣 昌己)	D109	Maejima Yasumitsu (前島 康光)	B161	Nagano Takashi (永野 隆士)	P376
Kawabata Takuya (川畑 拓矢)	B158	Maesaka Takeshi (前坂 剛)	P138	Nagao Ippei (永尾 一平)	C161
Kawai Hideaki (川合 秀明)	A303	Maki Takashi (真木 貴史)	B307	Nagao Takashi (永尾 隆)	B105
Kawai Kei (河合 慶)	B361	Makino Yasuo (横野 泰夫)	C361	Nagoshi Toshiyuki (名越 利幸)	C162
Kawai Mutsuo (川井 睦夫)	B210	Masuda Kooiti (増田 耕一)	C208	Nagumo Nobuhiro (南雲 信宏)	P342
Kawamoto Kazuaki (河本 和明)	A302	Masuda Takamasa (増田 宇将)	P384	Nakaegawa Toshiyuki (仲江川 敏之)	P187
Kawasaki Kenta (川崎 健太)	C212	Masuta Taisuke (益田 泰輔)	C111	Nakagawa Maho (中川 真秀)	D152
Kawase Hiroaki (川瀬 宏明)	A207	Matsuba Fumitaka (松葉 史剛)	P367	Nakai Sento (中井 専人)	A154
Kazumori Masahiro (計盛 正博)	B109	Matsueda Hidekazu (松枝 秀和)	P163	Nakai Sento (中井 専人)	P137
Kikuchi Hiroshi (菊池 博史)	P141	Matsugishi Shuhei (松岸 修平)	D104	Nakajima Takashi (中島 孝)	C109
Kikuchi Maki (菊池 麻紀)	B367	Matsumoto Jun (松本 淳)	C201	Nakamae Kumi (中前 久美)	P309
Kikuchi Ryota (菊地 亮太)	P120	Matsumoto Kengo (松本 健吾)	A307	Nakamura Tetsu (中村 哲)	A201
Kimura Hiroaki (木村 浩彰)	P393	Matsumura Shinji (松村 伸治)	D364	Nakano Masuo (中野 満寿男)	A362
Kinoshita Takenari (木下 武也)	D308	Matsuo Naoko (松尾 奈緒子)	P313	Nakano Masuo (中野 満寿男)	P320
Kita Yuki (北 祐樹)	P174	Matsuo Ryo (松尾 諒)	C159	Nakatsubo Minoru (中坪 稔)	P102
Kitabatake Naoko (北畠 尚子)	P113	Matsushita Hiroki (松下 拓樹)	P115	Nakayama Hideaki (中山 秀晃)	C209
Kitajima Ikumi (北島 育美)	P109	Matsushita Hiroki (松下 拓樹)	P304	Nakayama Hiromasa (中山 浩成)	C152
Kitano Yoshikazu (北野 慈和)	D166	Matsuura Asako (松浦 麻子)	B206	Nakayama Tomoki (中山 智喜)	D151
Kitoh Akio (鬼頭 昭雄)	D356	Mega Tomoaki (妻鹿 友昭)	P325	Nakayama Tomoki (中山 智喜)	P153
Kobayashi Chiaki (小林 ちあき)	P388	Michibata Takuro (道端 拓朗)	B111	Namba Kazuki (南波 和樹)	C110
Kobayashi Takahisa (小林 隆久)	P140	Michimoto Koichiro (道本 光一郎)	A107	Naoe Hiroaki (直江 寛明)	D312
Kodama Chihiro (小玉 知央)	A202	Michimoto Koichiro (道本 光一郎)	P343	Nasuno Tomoe (那須野 智江)	D106
Koike Kana (小池 佳奈)	C364	Mimura Kazuo (三村 和男)	D211	Nguyen Vinh Xuan Tien (グエン ビン シュワン ティエン)	P344
Kojima Yuhmi (小嶋 ゆう実)	A359	Mimura Satoru (三村 慧)	P349	Ninomiya Kozo (二宮 洗三)	A155
Kondo Keiichi (近藤 圭一)	B167	Minamihara Yuichi (南原 優一)	D160	Nishi Noriyuki (西 憲敬)	B103
Kosaka Yu (小坂 優)	D365				

Nishii Kazuaki (西井 和晃) D361
 Nishikawa Hatsumi (西川 はつみ) C210
 Nishimori Motoki (西森 基貴) P380
 Nishimoto Eriko (西本 絵梨子) D113
 Nishizawa Keiichi (西澤 慶一) P331
 Nishizawa Tomoaki (西澤 智明) P329
 Niwano Masashi (庭野 匡思) D303
 Noda Akira (野田 彰) D164
 Nodzu Masato (野津 雅人) P387
 Nomoto Satoshi (野本 哲) C113
 Nomura Mitsuharu (野村 光春) P315
 Nosaka Masaya (野坂 真也) P397
 Nozaki Eiichi (野崎 瑛一) P392

< O >

Ogawa Mariko (小川 まり子) P337
 Ogohara Kazunori (小郷原 一智) D206
 Oh'izumi Mitsuo (大泉 三津夫) P192
 Ohsawa Teruo (大澤 輝夫) C107
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) P156
 Ohyama Hirofumi (大山 博史) P148
 Oikawa Eiji (及川 栄治) P354
 Oizumi Tsutao (大泉 伝) P118
 Okada Masashi (岡田 将誌) P301
 Okada Miharuru (岡田 みはる) C358
 Okamoto Hajime (岡本 創) B114
 Okamoto Kozo (岡本 幸三) B155
 Okamura Rintaro (岡村 凛太郎) P154
 Okazaki Atsushi (岡崎 淳史) B157
 Okemoto Yuji (桶本 勇二) P106
 Okumura Masayoshi (奥村 政佳) C369
 Ono Marika (小野 茉莉花) D353
 Ono Ryota (小野 遼太) P330
 Onomura Shiho (小野村 史穂) A102
 Orikasa Narihiro (折笠 成宏) P128
 Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) D367
 Oshio Kenji (大塩 健志) D355
 Ota Kohei (太田 晃平) D155
 Ota Yoshifumi (太田 芳文) P152
 Otaki Kanji (大瀧 莞司) A163
 Otsuka Kiyotoshi (大塚 清敏) C164
 Otsuka Michiko (大塚 道子) B152
 Otsuka Shigenori (大塚 成徳) B160
 Oya Yasuhiro (大矢 康裕) C362
 Oyama Ryo (小山 亮) P168

< P >

Patra Prabir (パトラ プラビール) B306

< R >

Roh Woosub (ロウソブ) B101

< S >

Saeki Tazu (佐伯 田鶴) P157
 Sagawa Masato (佐川 正人) P105
 Saito Izumi (齋藤 泉) A165
 Saito Kazuo (斎藤 和雄) B165
 Saito Ryusei (齋藤 龍生) P365
 Sakai Tetsu (酒井 哲) C304
 Sakamaki Hiroshi (酒巻 洋) P136
 Sakanishi Kci (坂西 溪) P155
 Sakuma Syunji (佐久間 隼司) P351
 Sakurai Namiko (櫻井 南海子) P125
 Sampe Takeaki (三瓶 岳昭) C202
 Sano Tetsuya (佐野 哲也) A158
 Sano Tetsuya (佐野 哲也) P341
 Sasai Takahiro (佐々井 崇博) B308
 Sasaki Hiromi (佐々木 博三) P305
 Sassa Koji (佐々 浩司) P139
 Sato Kaori (佐藤 可織) D156
 Sato Naoki (佐藤 尚毅) D357
 Sato Tomonori (佐藤 友徳) P303
 Sato Yousuke (佐藤 陽祐) B363
 Satoh Shinsuke (佐藤 晋介) C308
 Satoh Takehiko (佐藤 毅彦) D201
 Satoh Takehiko (佐藤 毅彦) D202
 Sawada Yohei (澤田 洋平) B153
 Seiki Ayako (清水 亜矢子) A366
 Seiki Tatsuya (清水 達也) B108
 Seino Naoko (清野 直子) P308
 Seki Takanori (関 隆則) B207
 Sekiguchi Miho (関口 美保) D153
 Sekiya Fujio (関谷 不二夫) C368
 Sekiya Takashi (関谷 高志) B303
 Sekizawa Shion (関澤 偲温) D362
 Seko Hiromu (瀬古 弘) P335
 Shibata Yasukuni (柴田 泰邦) B305
 Shido Fumitake (志藤 文武) P107
 Shigeno Tetsuhide (滋野 哲秀) C365
 Shimada Susumu (嶋田 進) C108
 Shimada Teruhisa (嶋田 照久) C106
 Shimada Udai (嶋田 宇大) A354
 Shimizu Ryosuke (清水 亮介) D307
 Shimizu Shingo (清水 慎吾) A153
 Shimose Ken-ichi (下瀬 健一) P310
 Shimozuma Tatsuya (下妻 達也) C307
 Shindo Eiki (新藤 永樹) C155

Shiogama Hideo (塩竈 秀夫) P385
 Shiraiishi Koichi (白石 浩一) P356
 Shiraiishi Shouji (白石 晶二) C356
 Shoji Yoshinori (小司 禎教) P133
 Sucki Kenta (末木 健太) A111
 Sugawara Hirofumi (菅原 広史) P359
 Sugi Masato (杉 正人) A203
 Sugimoto Norihiko (杉本 憲彦) D159
 Sugimoto Norihiko (杉本 憲彦) D209
 Sugita Takafumi (杉田 考史) P161
 Sunaga Tomohiro (須長 智洋) P372
 Suzuki Junko (鈴木 順子) D112
 Suzuki Kenji (鈴木 賢士) D108
 Suzuki Shin-ichi (鈴木 真一) C158

< T >

Tabata Hiraku (田畑 啓) C302
 Tachibana Yoshihiro (立花 義裕) C203
 Taguchi Makoto (田口 真) D203
 Tajiri Takuya (田尻 拓也) A162
 Takahashi Chiharu (高橋 千陽) A209
 Takahashi Chiharu (高橋 千陽) A310
 Takahashi Hiroshi (高橋 洋) P181
 Takahashi Hiroshi (高橋 洋) P307
 Takahashi Naoya (高橋 直也) P366
 Takahashi Nobuto (高橋 信人) P177
 Takahashi Yukihiko (高橋 幸弘) D205
 Takane Yuya (高根 雄也) C151
 Takasaki Yoshinori (高咲 良規) C157
 Takaya Koutarou (高谷 康太郎) C213
 Takaya Yuhei (高谷 祐平) B204
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) A159
 Takemura Toshihiko (竹村 俊彦) A305
 Takenaka Hideaki (竹中 栄晶) C102
 Takikawa Hiroki (瀧川 宏樹) P374
 Tamori Chikaya (田盛 智翔也) P172
 Tanaka Akemi (田中 朱美) P383
 Tanaka Hiroshi (田中 博) D165
 Tanaka Taichu (田中 泰宙) B357
 Tanaka Yukiya (田中 幸也) C101
 Tanikawa Tomonori (谷川 朋範) P352
 Tanoue Masahiro (田上 雅浩) P379
 Tatara Hideyo (多々良 秀世) C351
 Tateno Manami (館野 愛実) D351
 Tatsuyama Yasuaki (龍山 康朗) C357
 Terao Toru (寺尾 徹) P371
 Terasaki Koji (寺崎 康児) B164
 Tobo Yutaka (當房 豊) A161

- Tochimoto Eigo (栃本 英伍) P123
 Toduka Saori (戸塚 紗織) P116
 Tomochika Masashi (友近 全志) D358
 Toyoshima Koichi (豊嶋 紘一) P332
 Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久) A351
 Tsuchida Tomoyasu (槌田 知恭) A308
 Tsuguti Hiroshige (津口 裕茂) A157
 Tsuji Hiroki (辻 宏樹) P171
 Tsujino Satoki (辻野 智紀) A358
 Tsujino Satoki (辻野 智紀) P173
 Tsunoda Yuma (角田 裕磨) P345
 Tsuruta Haruo (鶴田 治雄) B354
 Tsutsui Junichi (筒井 純一) A210
- < U >
- Uchino Osamu (内野 修) C303
 Uchiyama Tsunco (内山 常雄) C359
 Udagawa Yusuke (宇田川 佑介) C112
 Ueda Hiroaki (植田 宏昭) C207
 Uekiyo Naotaka (上清 直隆) B156
 Uematsu Hisayoshi (植松 久芳) C354
 Umezawa Taku (梅澤 拓) P357
 Uno Fumichika (宇野 史睦) C103
 Uno Itsushi (鵜野 伊津志) B352
 Ushigami Naoto (牛上 直斗) P386
 Ushiyama Tomoki (牛山 朋來) P318
 Usui Takara (薄井 聖) P145
- < W >
- Wada Akiyoshi (和田 章義) A360
 Wada Akiyoshi (和田 章義) P119
 Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) C355
 Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) P378
 Watanabe Akira (渡邊 明) B353
 Watanabe Hideki (渡邊 英樹) P189
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P166
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P363
 Watanabe Takeshi (渡邊 武志) P131
 Wu Jing (武 靖) B358
 Wu Peiming (伍 培明) A365
- < Y >
- Yamada Hiroyuki (山田 広幸) A353
 Yamada Kazutaka (山田 和孝) B201
 Yamada Kyohei (山田 恭平) D301
 Yamada Kyohei (山田 恭平) P175
 Yamada Yohei (山田 洋平) P390
 Yamada Yoshinori (山田 芳則) P326
 Yamagami Akio (山上 晃央) B203
 Yamaguchi Koki (山口 晃毅) C156
 Yamaguchi Kosei (山口 弘誠) P122
 Yamaguchi Munchiko (山口 宗彦) A355
 Yamaji Moeka (山地 萌果) P135
 Yamamoto Akira (山本 哲) B208
 Yamamoto Akira (山本 哲) C311
 Yamamoto Masaru (山本 勝) D208
 Yamamoto Munchisa (山本 宗尚) A151
 Yamamoto Naoto (山本 直人) P346
 Yamanaka Manabu D. (山中 大学) D111
 Yamanaka Manabu D. (山中 大学) D212
 Yamane Yusuke (山根 悠介) P369
 Yamanouchi Takashi (山内 恭) B302
 Yamasaki Yukihiko (山崎 行浩) P322
 Yamashita Akira (山下 晃) A164
 Yamashtia Katsuya (山下 克也) P126
 Yamashita Koji (山下 浩史) B151
 Yamashita Yousuke (山下 陽介) P159
 Yamauchi Akira (山内 晃) B110
 Yamaura Tsuyoshi (山浦 剛) P146
 Yamazaki Akira (山崎 哲) P176
 Yamazaki Ryota (山崎 稔太) P381
 Yanagisawa Kazuki (柳澤 和紀) P190
 Yanase Atsushi (柳瀬 篤志) P302
 Yanase Wataru (柳瀬 亘) A364
 Yashiro Hisashi (八代 尚) P170
 Yasufuku Hidetoshi (安福 英俊) C363
 Yasui Ryosuke (安井 良輔) P350
 Yasunaga Kazuaki (安永 数明) D105
 Yasutomi Natsuko (安富 奈津子) P178
 Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代) A211
 Ymaguchi Takuro (山口 拓朗) A309
 Yokoi Satoru (横井 覚) D110
 Yokota Sho (横田 祥) A112
 Yokoyama Chie (横山 千恵) D352
 Yoneyama Kunio (米山 邦夫) D101
 Yoshida Kohei (吉田 康平) P151
 Yoshida Mayumi (吉田 真由美) B366
 Yoshida Nobuo (吉田 信夫) P108
 Yoshida Ryuhei (吉田 龍平) P114
 Yoshida Satoru (吉田 智) P324
 Yoshida Syo (吉田 翔) C309
 Yoshida Toshiya (吉田 敏哉) P306
 Yoshikawa Keiko (吉川 契子) C366
 Yoshimori Masakazu (吉森 正和) A204
 Yoshimura Kotaro (吉村 洸太郎) P339
 Yoshioka Hiroaki (吉岡 大秋) P319
 Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美) P321
 Yuasa Soichiro (湯浅 惣一郎) A110
 Yukimoto Seiji (行本 誠史) A304
 Yumimoto Keiya (弓本 桂也) B368
- < Z >
- Zaizen Yuji (財前 祐二) P360
 Zhang Daizhou (張 代洲) B356
 Zhao Ning (趙 寧) D306